

第3章 騒音測定結果

3-1 騒音測定の概要

成田空港の周辺には、関係自治体及びNAAにより2022（令和4）年度末現在103局（千葉県23局、茨城県10局、成田市26局、芝山町9局、山武市1局、多古町1局、NAA33局）の航空機騒音測定局（以下「測定局」という。）が設置され、そのうち市内には、47局（成田市26局、千葉県7局、NAA14局）が設置されている。まず、航空機騒音測定局配置及びエリア図を図3-1-1に、同一覧表を表3-1-1に示す。

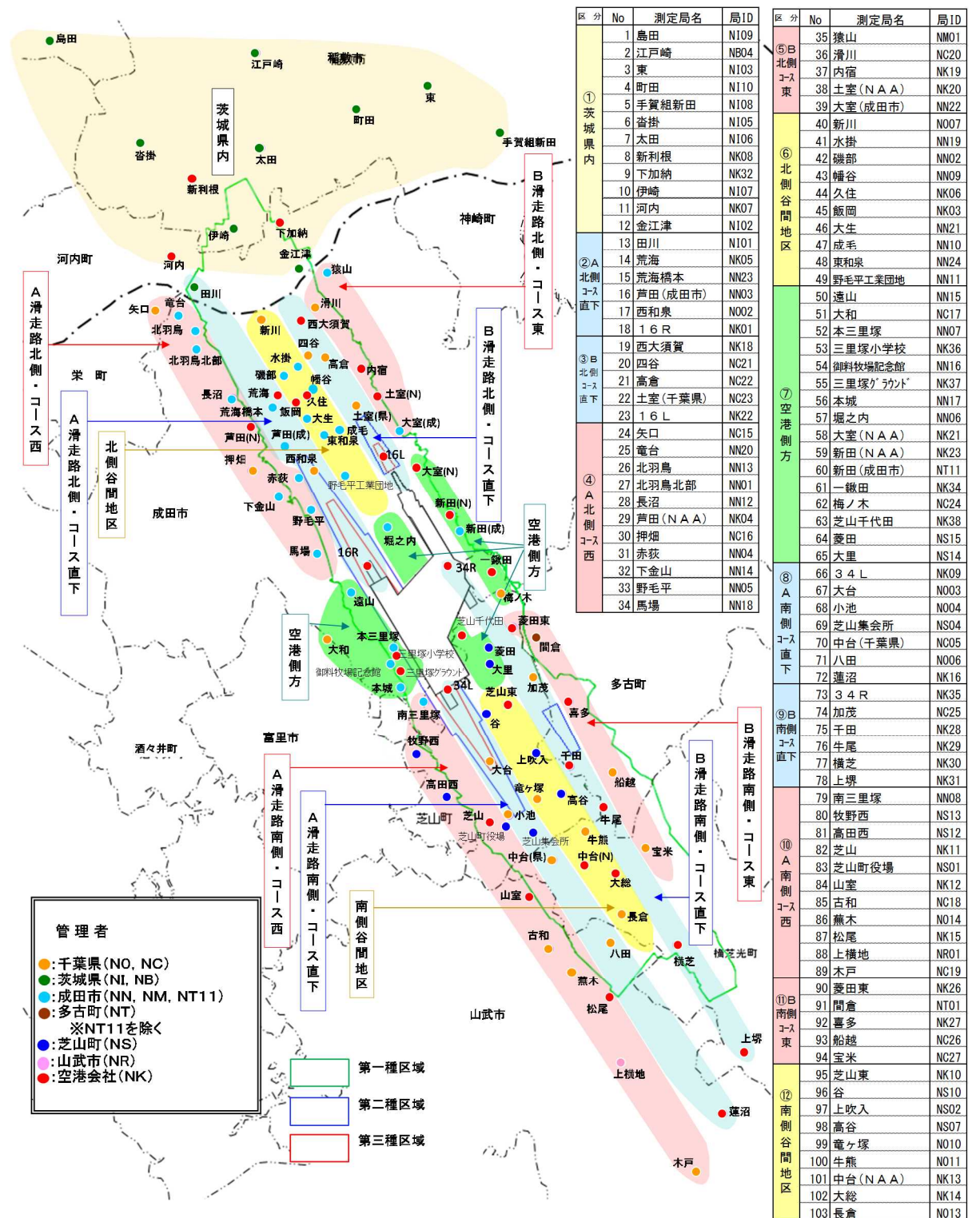


図3-1-1 航空機騒音測定局配置及びエリア図

※2022（令和4）年度末現在

表 3-1-1 航空機騒音測定局一覧表

※2022（令和4）年度末現在

区分	No.	局ID	測定局名	設置場所	管理者
① 茨城県内	1	NI09	島田	牛久市島田公会堂	茨城県
	2	NB04	江戸崎	稲敷市江戸崎終末処理場	茨城県
	3	NI03	東	稲敷市新利根土地改良区事務所	茨城県
	4	NI10	町田	稲敷市町田農村集落センター	茨城県
	5	NI08	手賀組新田	稲敷市手賀組新田農村集落センター	茨城県
	6	NI05	沓掛	稲敷市根本五区共同利用施設	茨城県
	7	NI06	太田	稲敷市新利根いこいのプラザ	茨城県
	8	NK08	新利根	稲敷市立新利根中学校	N A A
	9	NK32	下加納	河内町下加納愛宕神社	N A A
	10	NI07	伊崎	稲敷市南部共同利用施設	茨城県
	11	NK07	河内	河内町中央公民館	N A A
	12	NI02	金江津	河内町金江津東共同利用施設	茨城県
② A北側コース直下	13	NI01	田川	河内町田川共同利用施設	茨城県
	14	NK05	荒海	成田市荒海共同利用施設	N A A
	15	NN23	荒海橋本	成田市荒海共生プラザ	成田市
	16	NN03	芦田	成田市芦田	成田市
	17	N002	西和泉	成田市PGM総成コロシアム	千葉県
	18	NK01	16R	A滑走路北端	N A A
③ B北側コース直下	19	NK18	西大須賀	成田市西大須賀共同利用施設	N A A
	20	NC21	四谷	成田市四谷青年館	千葉県
	21	NC22	高倉	成田市高倉	千葉県
	22	NC23	土室	成田市久住パークゴルフ場	千葉県
	23	NK22	16L	北総VOR/DME用地内	N A A
④ A北側コース西	24	NC15	矢口	栄町矢口集会所	千葉県
	25	NN20	竜台	成田市竜台	成田市
	26	NN13	北羽鳥	成田市北羽鳥	成田市
	27	NN01	北羽鳥北部	成田市北羽鳥北部共同利用施設	成田市
	28	NN12	長沼	成田市長沼	成田市
	29	NK04	芦田	成田市芦田排水機場	N A A
	30	NC16	押畑	成田市押畑親水広場予定地	千葉県
	31	NN04	赤荻	成田市赤荻共同利用施設	成田市
	32	NN14	下金山	成田市下金山	成田市
	33	NN05	野毛平	成田市野毛平共同利用施設	成田市
	34	NN18	馬場	成田市馬場共同利用施設	成田市
⑤ B北側コース東	35	NM01	猿山	成田市役所下総支所	成田市
	36	NC20	滑川	成田市滑河運動施設	千葉県
	37	NK19	内宿	成田市内宿共同利用施設	N A A
	38	NK20	土室	成田市土室	N A A
	39	NN22	大室	成田市大室	成田市
⑥ 北側谷間地区	40	N007	新川	成田市新川共同利用施設	千葉県
	41	NN19	水掛	成田市水掛共同利用施設	成田市
	42	NN02	磯部	成田市磯部共同利用施設	成田市
	43	NN09	幡谷	成田市幡谷共同利用施設	成田市
	44	NK06	久住	成田市立久住小学校	N A A
	45	NK03	飯岡	成田市飯岡共同利用施設	N A A
	46	NN21	大生	成田市大生共同利用施設	成田市
	47	NN10	成毛	成田市成毛共同利用施設	成田市
	48	NN24	東和泉	成田市東和泉	成田市
	49	NN11	野毛平工業団地	成田市野毛平工業団地管理事務所	成田市

は、成田市内の航空機騒音測定局（47局）を示す。

区分	No.	局ID	測定局名	設置場所	管理者
⑦ 空港側方	50	NN15	遠山	成田市立遠山小学校	成田市
	51	NC17	大和	富里市大和緑ヶ丘自治会館	千葉県
	52	NN07	本三里塚	成田市本三里塚共同利用施設	成田市
	53	NK36	三里塚小学校	成田市立三里塚小学校	N A A
	54	NN16	御料牧場記念館	成田市三里塚御料牧場記念館	成田市
	55	NK37	三里塚グラウンド	成田市三里塚NAA施設用地内	N A A
	56	NN17	本城	成田市本城	成田市
	57	NN06	堀之内	成田市堀之内共同利用施設	成田市
	58	NK21	大室	成田市竜面共同利用施設	N A A
	59	NK23	新田	成田市新田	N A A
	60	NT11	新田	成田市新田	成田市
	61	NK34	一畝田	多古町一畝田共同利用施設	N A A
	62	NC24	梅ノ木	芝山町菱田梅ノ木集会所	千葉県
	63	NK38	芝山千代田	芝山町香山新田	N A A
	64	NS15	菱田	芝山町菱田宿公会堂	芝山町
65	NS14	大里	芝山町住母家集会所	芝山町	
⑧ A南側コース直下	66	NK09	34L	A滑走路南端	N A A
	67	N003	大台	芝山町芝山第二工業団地管理事務所	千葉県
	68	N004	小池	芝山町小池共同利用施設	千葉県
	69	NS04	芝山集会所	芝山町芝山集会所	芝山町
	70	NC05	中台	横芝光町中台共同利用施設	千葉県
	71	N006	八田	山武市八田共同利用施設	千葉県
	72	NK16	蓮沼	山武市蓮沼保健センター	N A A
⑨ B南側コース直下	73	NK35	34R	B滑走路南側航空保安施設用地	N A A
	74	NC25	加茂	芝山町大里加茂公民館	千葉県
	75	NK28	千田	多古町千田	N A A
	76	NK29	牛尾	多古町牛尾共同利用施設	N A A
	77	NK30	横芝	横芝光町立横芝小学校	N A A
	78	NK31	上塚	横芝光町立上塚小学校	N A A
⑩ A南側コース西	79	NN08	南三里塚	成田市南三里塚共同利用施設	成田市
	80	NS13	牧野西	芝山町牧野西部公民館	芝山町
	81	NS12	高田西	芝山町高田西部公民館	芝山町
	82	NK11	芝山	芝山町立芝山小学校	N A A
	83	NS01	芝山町役場	芝山町役場	芝山町
	84	NK12	山室	山武市山室	N A A
	85	NC18	古和	山武市古和共同利用施設	千葉県
	86	N014	蕪木	山武市蕪木共同利用施設	千葉県
	87	NK15	松尾	山武市松尾ふれあい館	N A A
	88	NR01	上横地	山武市上横地揚水場	山武市
	89	NC19	木戸	山武市木戸浜共同利用施設	千葉県
⑪ B南側コース東	90	NK26	菱田東	芝山町菱田東公会堂	N A A
	91	NT01	間倉	多古町間倉	多古町
	92	NK27	喜多	多古町喜多第二共同利用施設	N A A
	93	NC26	船越	多古町船越粟田公民館	千葉県
	94	NC27	宝米	九十九里地域水道企業団光取水場	千葉県
⑫ 南側谷間地区	95	NK10	芝山東	芝山町立東小学校	N A A
	96	NS10	谷	芝山町谷	芝山町
	97	NS02	上吹入	芝山町上吹入青年館	芝山町
	98	NS07	高谷	芝山町高谷共同利用施設	芝山町
	99	N010	竜ヶ塚	芝山町小池第七集会所	千葉県
	100	N011	牛熊	横芝光町牛熊共同利用施設	千葉県
	101	NK13	中台	横芝光町中台	N A A
	102	NK14	大総	横芝光町立大総小学校	N A A
	103	N013	長倉	横芝光町長倉共同利用施設	千葉県

※前年度からの測定局の新設や廃止、設置場所等の変更はなし

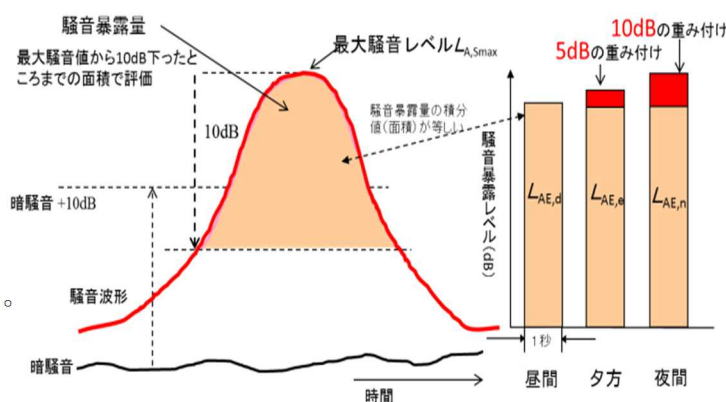
次に、これら測定局における測定データの集計処理の方法については、共生財団が全 103 局からのデータを独自に構築した航空機騒音データ処理システムにより一元的に集計処理するという全国に例のない体制を整備している。また、各測定局の設置管理者へ日報（速報値）、月報（速報値）として集計データの提供を行うとともに、共生財団のホームページで各測定局の月報（速報値）及び年報（確定値、各測定局の詳細なデータをはじめ、前年度との比較データや運航状況の変化を踏まえた調査結果等）を公開している。航空機騒音データ処理システムの構成図を図 3-1-2 に、同データ処理フローを図 3-1-3 に示す。

- ・測定局では、騒音レベルが「暗騒音レベルに対して 10 デシベル（以下「dB」という。）以上大きく」かつ「音の継続時間」の設定条件を満たしたものを航空機騒音として識別しデータを測定している。
- ・航空機騒音データ処理システムは、公衆回線を通じて各測定局の測定データを自動収集している。また、各測定局の測定データ及び NAA から提供される運航実績や航跡観測サービスから提供される航跡データを基に、騒音発生時刻及び航空機と測定局との最接近時間等により航空機騒音を抽出し、各測定局における時間帯補正等価騒音レベル（以下「 L_{den} 」という。）を算出している。なお、 L_{den} は地上騒音も評価対象に含めることから、NAA から提供される地上騒音照合結果を参照し、地上騒音が観測される可能性がある空港周辺の測定局について集計を行っている。

【参考】

●単発騒音暴露レベル（ L_{AE} ）

L_{den} 算出の基となる L_{AE} は、単発的に発生する騒音の全エネルギーと等しいエネルギーを持つ継続時間 1 秒の定常音の騒音レベルを示す。単位 [dB]。



●時間帯補正等価騒音レベル（ L_{den} ）

L_{den} は、昼間（7～19 時）、夕方（19～22 時）、夜間（0～7 時、22～0 時）の時間帯別に重みを付けて求めた 1 日の等価騒音レベル（昼夕夜平均騒音レベルともいう。）で、次式による。単位は [dB]。

$$L_{den} = 10 \log_{10} \left\{ \frac{T_0}{T} \left(\sum_i 10^{\frac{L_{AE,di}}{10}} + \sum_j 10^{\frac{L_{AE,ej}+5}{10}} + \sum_k 10^{\frac{L_{AE,nk}+10}{10}} \right) \right\}$$

※ここで、 i, j, k は、それぞれ昼間（7～19 時）、夕方（19～22 時）、夜間（0～7 時、22～0 時）の時間帯に発生した単発騒音を表す添え字。 $L_{AE,di}, L_{AE,ej}, L_{AE,nk}$ は、それぞれの時間帯での i 番目、 j 番目、 k 番目の単発騒音暴露レベル。 T_0 は基準の時間（1s）、 T は観測 1 日の時間（86,400s）。なお、地上騒音に含まれる準定常騒音はそれぞれの時間帯での騒音暴露レベル $L_{AE,Ti,di}, L_{AE,Tj,ej}, L_{AE,Tk,nk}$ として表し、これらを上式の $L_{AE,di}, L_{AE,ej}, L_{AE,nk}$ に読み替えて算入する。

●最大騒音レベル（ $L_{A, Smax}$ ）

$L_{A, Smax}$ は、騒音の発生ごとに観測される騒音レベルの最大値。単位は [dB]。

※騒音計の時間重み付け特性を S (slow) に設定して求めた最大騒音レベル。

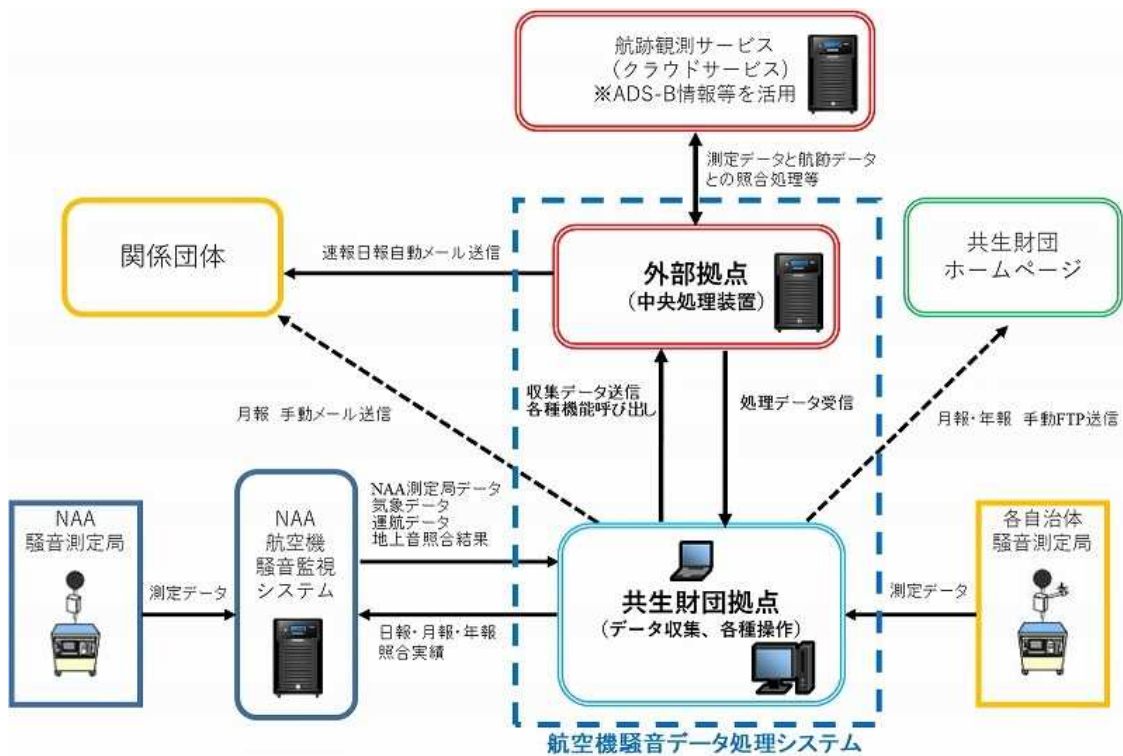


図 3-1-2 航空機騒音データ処理システムの構成図

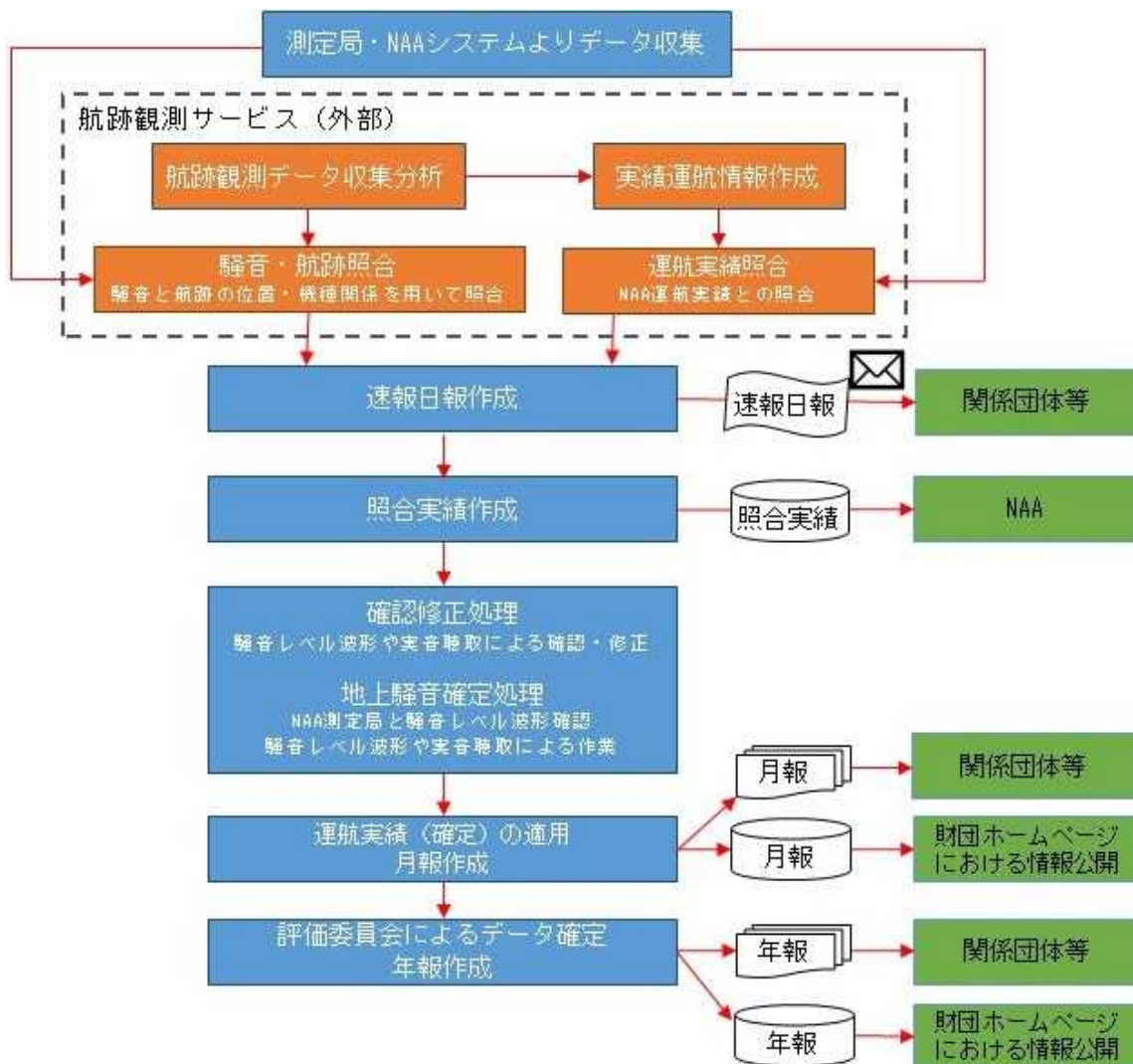


図 3-1-3 航空機騒音データ処理システムのデータ処理フロー

次に、航空機騒音に関する法律として、「公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律」（以下「騒防法」という。）があり、特定飛行場（※）周辺において、航空機の騒音により生じる障害の防止、離着陸の頻繁な実施により生じる損失の補償のため、特定飛行場の設置者が講ずべき措置等を規定している。

騒防法に定める区域ごとの値は次に示すとおりであり、この値以上である区域を指定している。

第1種区域：住宅の騒音防止工事の助成の措置をとる区域（ L_{den} 62dB 以上）

第2種区域：移転の補償等を行うことができる区域（ L_{den} 73dB 以上）

第3種区域：緑地帯等が整備されるよう必要な措置をとる区域（ L_{den} 76dB 以上）

※【特定飛行場（14 空港）】

国管理空港（12）：函館空港、仙台空港、東京国際空港、新潟空港、松山空港、高知空港、福岡空港、熊本空港、大分空港、宮崎空港、鹿児島空港、那覇空港

会社管理空港（2）：成田国際空港、大阪国際空港

成田空港における2022（令和4）年度の空港内や無指定地域を含めた区域ごとの測定期間数は、第1種区域60局、第2種区域1局、第3種区域2局、空港内7局、無指定地域33局の合計103局である。

なお、令和2年4月1日付けで「成田国際空港の更なる機能強化」に伴う騒防法の指定区域の変更がなされている。

3-2 騒音測定結果

まず、2022（令和4）年度騒音測定結果状況図を図3-2-1に、同一覧表を表3-2-1に示す。

2022（令和4）年度の騒防法指定区域内の全測定局の L_{den} については、第1種区域（62dB以上）においては第2種区域に定める値（73dB）未満、第2種区域（73dB以上）においては第3種区域に定める値（76dB）未満であった。また、無指定地域内の全測定局の L_{den} については、第1種区域に定める値（62dB）未満であった。

次に、2013（平成25）年度から2022（令和4）年度までの L_{den} 年間値の推移をエリア別のグラフで図3-2-2に示す。

これにより、エリア別に過去10年間の騒音値の推移を確認することができる。

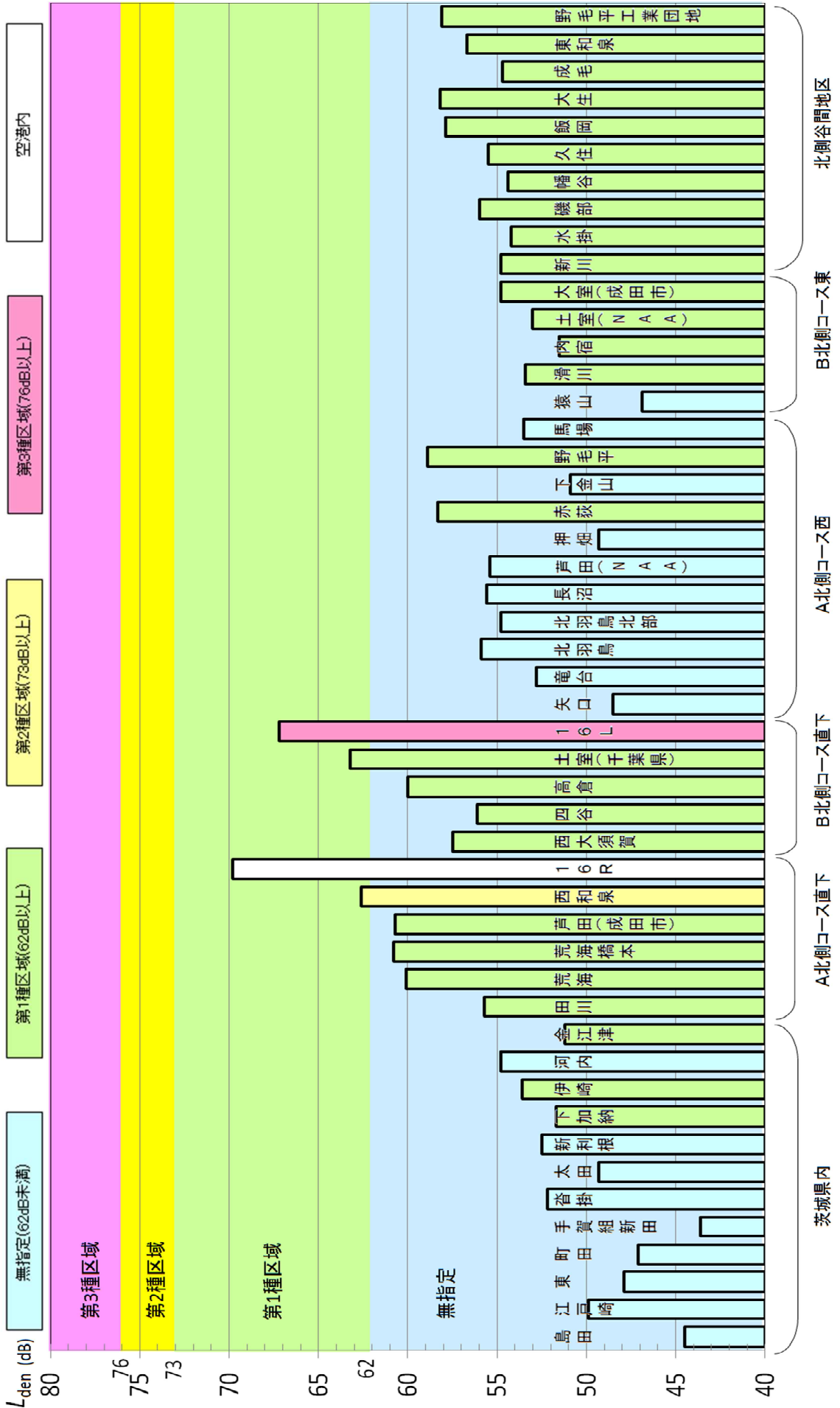
次に、2022（令和4）年度のエリア別の各測定局の月間 L_{den} 及び月間累計騒音発生回数を図3-2-3に示す。なお、全12エリアのうち空港内の34R局のある「B南側コース直下エリア」を除いた市内測定局のある7エリアを掲載し、個別の測定局の測定結果については、市内測定局のみを掲載している。

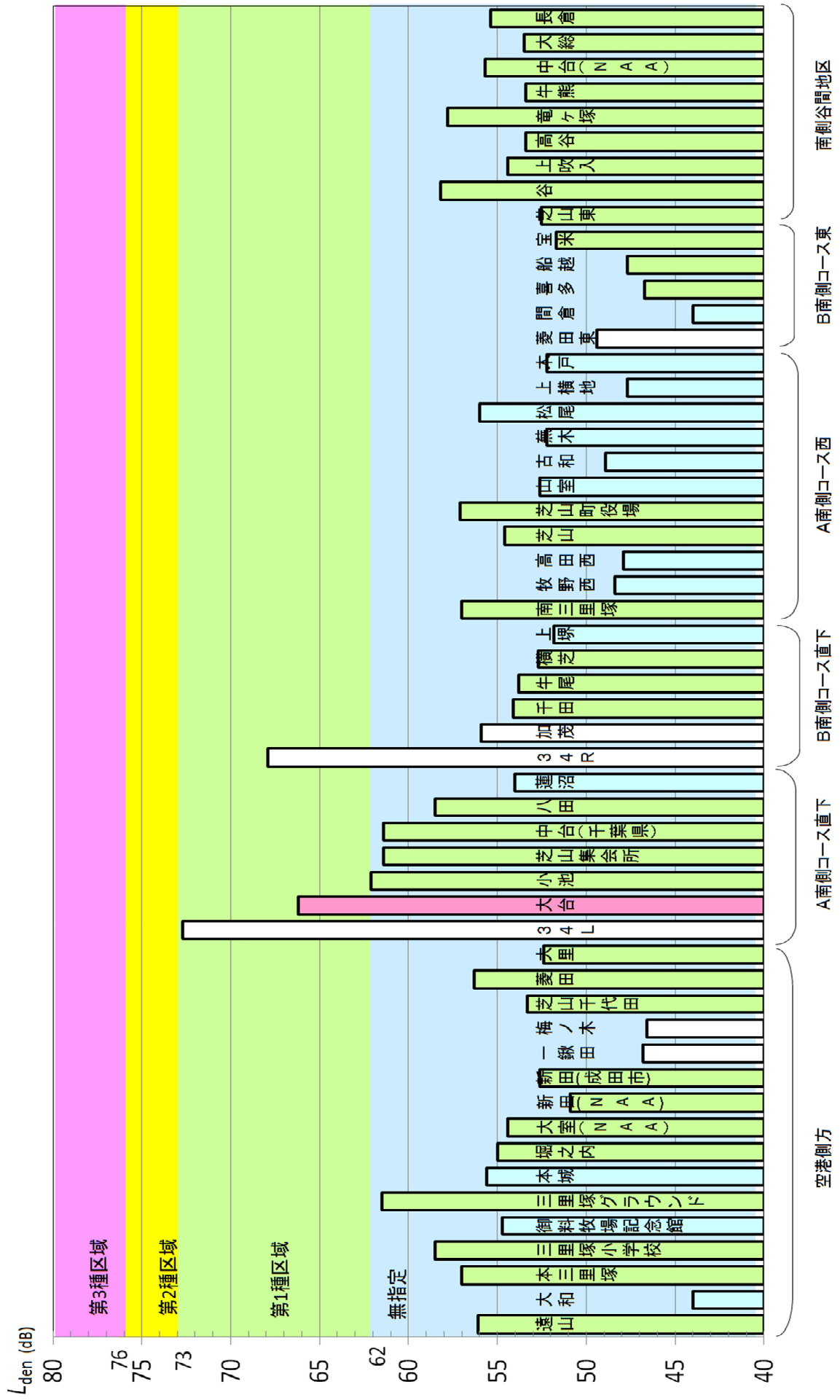
これにより、同一エリア内における特徴などを確認することができる。

（エリア区分）

- ①茨城県内（市内測定局がないため省略）
- ②A滑走路北側・コース直下
- ③B滑走路北側・コース直下
- ④A滑走路北側・コース西
- ⑤B滑走路北側・コース東
- ⑥北側谷間地区
- ⑦空港側方
- ⑧A滑走路南側・コース直下（市内測定局がないため省略）
- ⑨B滑走路南側・コース直下（空港内測定局のみのため省略）
- ⑩A滑走路南側・コース西
- ⑪B滑走路南側・コース東（市内測定局がないため省略）
- ⑫南側谷間地区（市内測定局がないため省略）

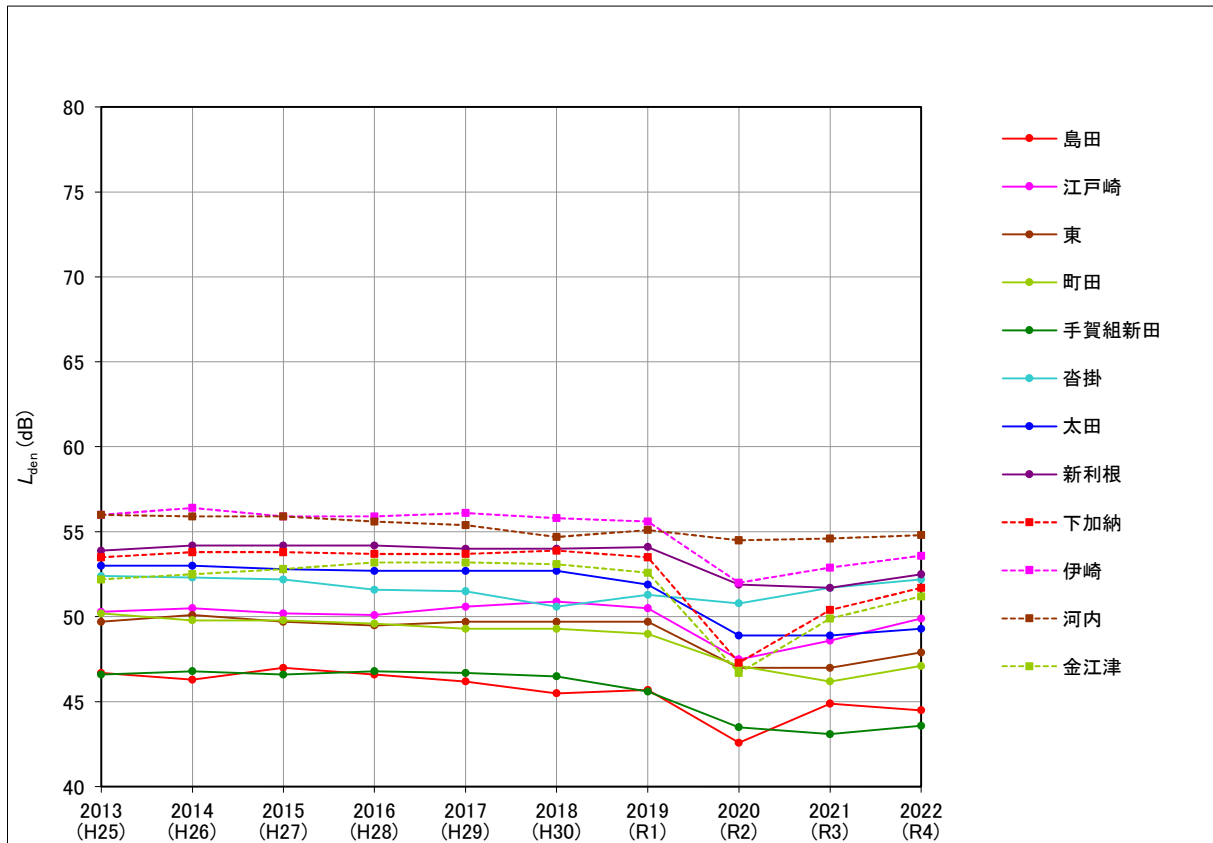
図 3-2-1 2022 (令和 4) 年度騒音測定結果状況図





区分	No.	測定局名	区域変更(R2.4.1~)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間値	2021 (R2)	2020 (R1)	2018 (H30)	2017 (H29)	2016 (H28)	2015 (H27)	2014 (H26)	2013 (H25)	
空港 側方	50	蘆山		55.9	53.9	52.9	50.0	52.1	55.9	57.9	57.8	58.2	57.2	57.6	56.9	56.1	56.1	58.1	58.0	58.3	58.4	58.5	58.4	58.5	
	51	大和		45.3	39.9	38.9	32.4	35.5	40.4	46.3	45.9	47.7	45.0	44.6	45.4	44.0	43.5	44.1	44.2	44.6	45.1	45.8	45.6	45.5	45.2
	52	本三里塚		57.0	54.9	55.5	52.2	54.3	57.0	58.4	59.6	59.6	57.5	57.3	57.7	57.9	57.0	57.4	58.0	57.8	58.1	58.3	58.5	58.5	58.6
	53	三里塚小学校		58.5	57.4	57.8	56.2	57.4	58.8	59.7	60.7	58.1	57.8	57.8	58.5	59.4	58.5	58.4	59.4	59.4	60.0	60.0	60.3	60.5	60.7
	54	御料牧場記念館		55.1	53.3	53.0	51.6	51.9	53.6	56.0	57.2	55.5	54.4	55.5	54.4	55.5	54.7	54.8	55.6	55.8	56.0	56.0	56.1	56.0	56.5
	55	三里塚アワンソド		62.1	61.5	61.3	60.9	61.2	60.8	61.5	62.3	62.3	60.8	60.8	61.9	62.4	61.5	61.3	61.1	63.2	63.5	63.9	64.1	64.3	64.8
	56	本城		55.9	55.1	54.4	53.3	52.7	53.0	56.5	58.2	58.2	56.7	56.3	56.1	55.6	55.5	54.7	56.3	56.5	57.3	57.3	57.4	57.7	57.8
	57	堀之内		54.1	52.0	51.5	47.8	49.8	54.0	56.7	56.9	57.7	56.5	56.5	56.4	55.9	55.0	54.4	54.6	58.0	57.7	57.5	57.6	57.4	57.8
	58	大室(NAA)		57.3	56.1	55.7	53.8	54.0	51.5	53.0	52.8	53.9	54.0	53.0	53.6	54.4	54.3	49.2	56.1	57.4	58.0	59.0	58.2	58.1	57.9
	59	新田(NAA)		49.4	48.7	48.4	50.2	50.1	45.4	49.1	51.4	53.7	53.2	52.1	52.3	50.9	49.7	49.3	55.6	56.2	55.5	54.6	54.0	54.6	54.7
60	新田(成田市)		51.1	50.2	49.7	51.5	51.9	47.9	51.6	52.9	55.3	54.7	54.1	54.0	52.6	52.6	50.9	57.4	58.3	58.1	57.1	56.5	56.9	56.5	
61	一畝田	第1種→空港内	45.1	43.7	44.8	45.5	45.4	43.1	45.3	46.9	48.5	48.6	48.9	49.7	46.8	47.3	46.4	52.7	53.3	53.8	53.4	53.5	53.8	53.4	
62	種ノ木	無指定→空港内	41.4	37.7	41.6	41.9	43.0	44.7	46.6	47.8	49.1	49.0	49.3	50.1	46.8	46.2	45.5	52.1	53.5	53.5	53.4	53.5	53.8	53.3	
63	芝山千代田	無指定→第1種	52.4	52.1	51.5	51.3	51.8	49.0	52.3	54.2	55.9	54.6	54.6	55.1	53.3	53.2	53.2	55.9	56.3	56.7	56.5	56.5	57.3	57.2	
64	夢田		46.7	46.7	46.2	45.6	50.1	56.7	58.5	58.2	58.9	58.6	58.6	58.7	56.3	56.3									
65	大里	無指定→第1種	51.5	51.5	51.3	51.5	51.4	49.9	51.9	52.5	53.6	53.1	53.9	54.7	52.4	52.4	51.4	56.3							
66	34L		73.4	72.9	73.2	73.0	73.2	72.5	72.4	72.7	72.7	71.9	71.3	72.1	72.8	72.7	72.4	72.1	72.1	72.8	73.3	73.5	74.0	74.4	
A 南側 コース 直下	67	大台		67.4	66.6	66.6	66.0	65.9	65.8	66.2	66.3	65.7	65.1	66.2	66.8	66.2	66.5	66.1	65.3	65.3	66.3	66.8	66.9	67.4	
	68	小池		63.2	62.7	62.5	62.2	62.0	61.1	61.5	62.2	61.1	60.8	62.3	63.2	62.1	62.3	61.8	61.9	61.8	62.7	63.0	63.2	63.7	63.9
	69	芝山集会所		62.8	62.0	61.7	59.6	60.5	60.4	61.6	61.8	61.2	60.8	61.7	62.3	61.4	61.7	61.4	60.5	60.4	61.5	62.0	62.1	62.3	62.6
	70	中台(千葉県)		62.9	62.1	61.5	61.1	61.2	60.5	60.9	61.4	60.8	60.4	61.4	62.2	61.4	61.5	61.1	60.7	60.8	(61.5)	62.2	62.4	62.6	62.5
	71	八田		59.6	59.2	58.9	57.4	57.7	57.3	58.1	58.8	58.0	58.0	57.8	58.9	59.5	58.5	58.1	57.8	57.8	58.6	58.9	59.0	59.6	60.1
	72	蓮沼		54.5	54.1	54.4	53.6	53.7	52.7	53.8	54.5	53.9	53.5	54.4	54.8	54.0	54.0	53.5	54.1	54.1	54.6	54.7	(54.9)	55.8	55.9
	73	34R		53.7	52.4	50.3	50.3	60.9	69.3	70.4	70.1	70.7	70.6	70.2	69.9	67.9	64.5	65.7	73.9	73.8	(74.6)				
	74	加茂	第1種→空港内	43.2	38.1	40.3	42.1	48.9	56.8	58.1	58.0	58.7	58.5	58.4	58.2	58.2	55.9	56.7	61.5	61.5	60.8	60.5	60.1	(59.3)	58.8
	75	千田		47.9	47.8	47.8	47.9	48.6	54.3	56.0	56.0	56.4	56.2	56.2	56.2	54.1	51.7	52.1	59.2	59.0	58.5	58.1	57.4	57.6	57.6
	76	牛尾	無指定→第1種	47.2	47.8	47.5	46.5	49.0	54.1	55.7	55.7	56.1	55.9	55.8	55.8	53.8	51.0	51.5	58.5	58.3	57.6	57.5	57.1	57.4	57.1
77	横芝	無指定→第1種	48.9	47.0	47.0	47.9	49.2	53.1	54.6	54.6	54.8	54.8	54.6	54.7	54.3	52.7	50.8	50.8	56.8	57.0	56.3	55.5	55.8	55.6	
78	上塚		48.8	48.2	48.8	48.0	48.9	50.9	53.6	53.6	53.6	53.2	53.5	53.6	51.8	50.0	50.1	55.9	56.5	55.8	55.3	55.0	55.3	55.2	
79	筒三里塚		58.1	58.4	58.0	57.8	57.4	52.7	54.8	57.1	55.4	55.6	57.3	58.4	57.0	57.1	56.2	59.3	59.6	59.7	59.1	59.0	59.6	59.7	
80	牧野西		49.9	50.4	50.1	49.0	49.1	44.5	45.3	47.2	44.7	45.7	48.3	50.6	48.4	47.9	47.0	49.3	49.5	49.8	49.4	49.6	50.1	50.3	
81	高田西		50.1	51.0	50.2	48.8	47.4	42.4	43.1	46.3	42.0	44.0	44.0	47.4	50.0	47.9	48.7	47.5	50.2	50.2	50.8	51.1	51.2	51.2	
A 南側 コース 西	82	芝山		56.0	56.3	55.9	55.8	55.4	52.3	51.9	53.7	50.8	51.6	54.1	56.2	54.6	54.5	53.5	55.5	55.6	56.0	55.7	56.1	56.8	56.8
	83	芝山町役場		58.4	58.8	58.4	58.0	57.9	54.8	54.5	56.2	53.8	54.5	56.9	58.8	57.1	57.1	56.2	57.7	57.9	58.3	58.0	58.4	58.9	58.8
	84	山室		53.9	54.2	53.8	53.8	53.4	50.5	50.2	51.7	49.5	50.0	52.2	54.0	52.6	52.6	51.6	53.3	53.4	53.8	53.8	54.1	54.8	54.9
	85	吉和		49.9	51.1	51.0	49.7	48.8	44.7	46.2	48.5	46.1	47.0	48.8	50.3	48.9	49.3	48.7	50.5	50.5	50.9	50.8	51.1	51.7	51.8
	86	蕨木		53.5	53.6	53.5	52.8	52.3	49.2	49.9	52.1	50.0	50.4	52.4	54.0	52.2	52.4	51.5	52.8	53.0	53.6	53.2	53.4	54.0	54.1
	87	松尾		57.2	56.9	56.7	55.8	56.0	54.4	55.0	55.9	54.7	54.8	56.0	57.0	56.0	56.1	55.3	55.8	55.9	56.5	56.4	56.6	56.8	56.9
	88	上横地		48.6	48.9	49.1	47.9	47.2	43.2	45.9	47.6	46.2	46.3	48.1	49.5	47.7	47.9	47.0	48.0	48.4	48.7	48.6	48.9	49.2	49.2
	89	木戸		53.0	52.3	52.7	52.0	51.7	50.5	51.7	52.6	51.8	51.6	52.5	53.1	52.2	52.2	51.8	51.5	51.7	52.5	52.6	52.6	53.0	53.2
	90	養田東	第1種→空港内	40.3	34.7	39.7	42.1	44.1	49.3	50.8	51.1	52.2	51.9	51.9	52.6	49.4	47.6	47.6	55.5	55.8	55.7	55.6	55.5	55.7	55.5
	91	間倉		35.4	27.2	36.2	36.9	38.8	42.0	44.0	45.2	47.1	46.8	46.9	47.7	44.0	43.0	42.2	50.1	50.7	51.2	50.7	50.5	50.7	50.8
B 南側 コース 東	92	豊多	無指定→第1種	38.6	37.4	36.7	40.5	42.1	47.1	48.3	48.6	49.1	48.9	49.1	49.6	46.7	45.5	45.2	52.8	52.4	52.6	52.1	52.3	52.0	
	93	船越	無指定→第1種	39.9	37.7	36.0	40.4	41.7	47.2	49.2	49.8	50.2	50.2	50.3	50.4	47.7	46.0	45.9	53.0	53.1	52.8	52.4	52.1	52.2	
	94	里米	無指定→第1種	42.9	39.0	38.1	42.2	45.0	51.1	53.7	54.1	54.6	54.4	54.4	54.0	51.7	49.0	49.5	56.7	56.5	55.8	55.3	54.9	55.1	
	95	芝山東	無指定→第1種	51.9	52.2	52.4	52.3	52.6	51.2	51.5	52.5	52.0	51.5	53.3	54.6	52.5	51.8	51.1	56.3	56.5	56.5	56.0	56.2	56.6	56.6
	96	谷		59.4	59.7	59.9	60.1	59.8	55.9	54.8	56.8	53.9	54.5	57.5	59.7	58.2	58.1	57.1	59.3	59.6	59.5	59.2	59.5	59.8	60.1
	97	上吹入	無指定→第1種	55.1	53.7	55.3	55.2	55.0	52.5	52.7	54.2	52.5	52.8	54.5	56.6	54.4	54.5	53.6	56.4	56.6	56.6	56.4	56.6	57.0	57.0
	98	高谷	無指定→第1種	51.9	51.6	52.7	52.5	52.7	5																

①茨城県内



②A北側コース直下

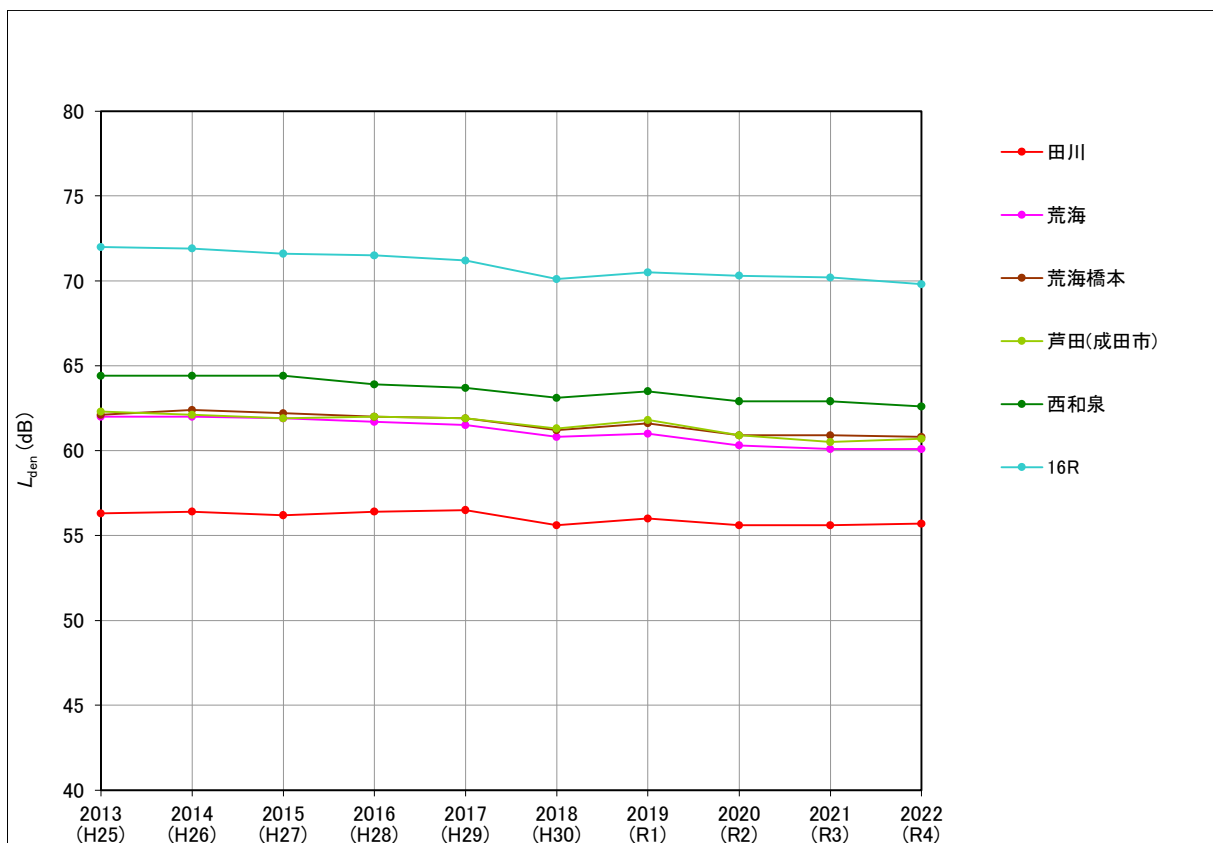
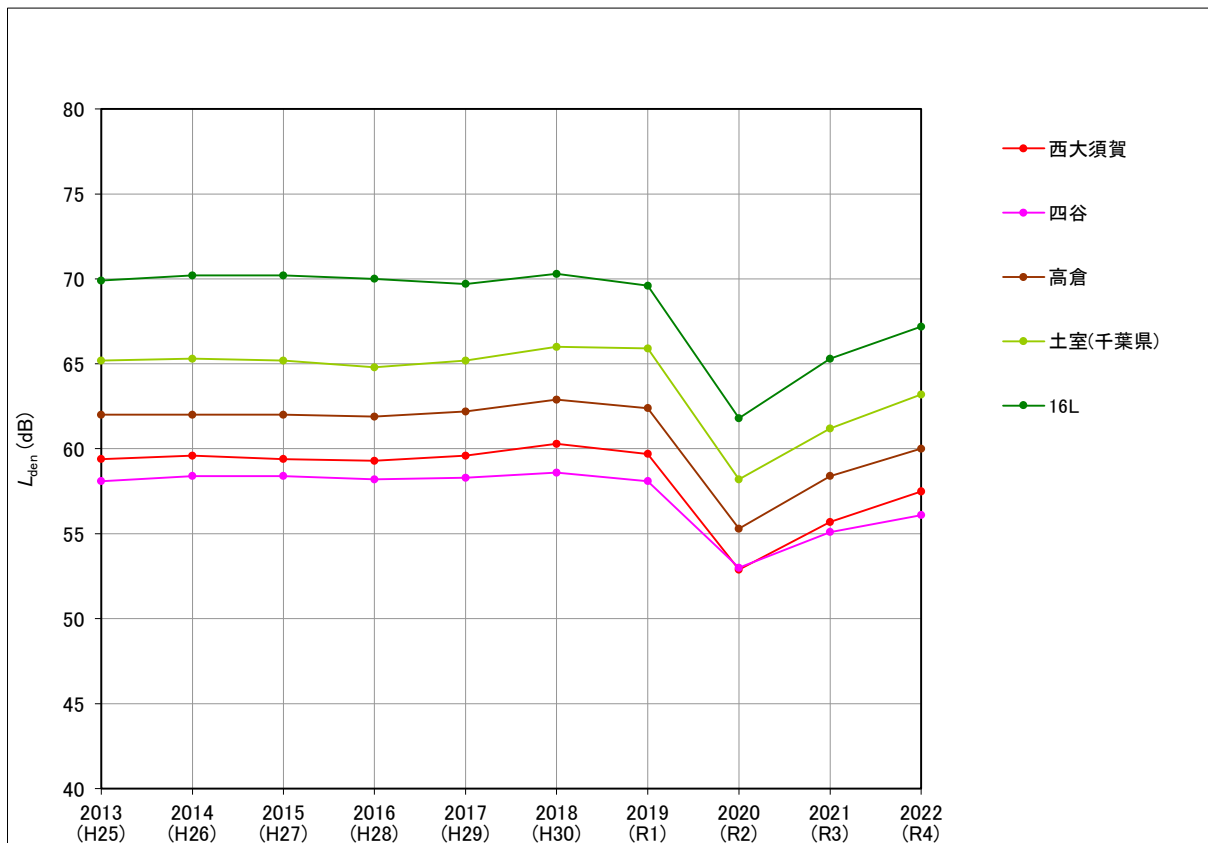


図 3-2-2 2013 (平成 25) 年度から 2022 (令和 4) 年度までの L_{den} 年間値の推移 (1/6)

③ B北側コース直下



④ A北側コース西

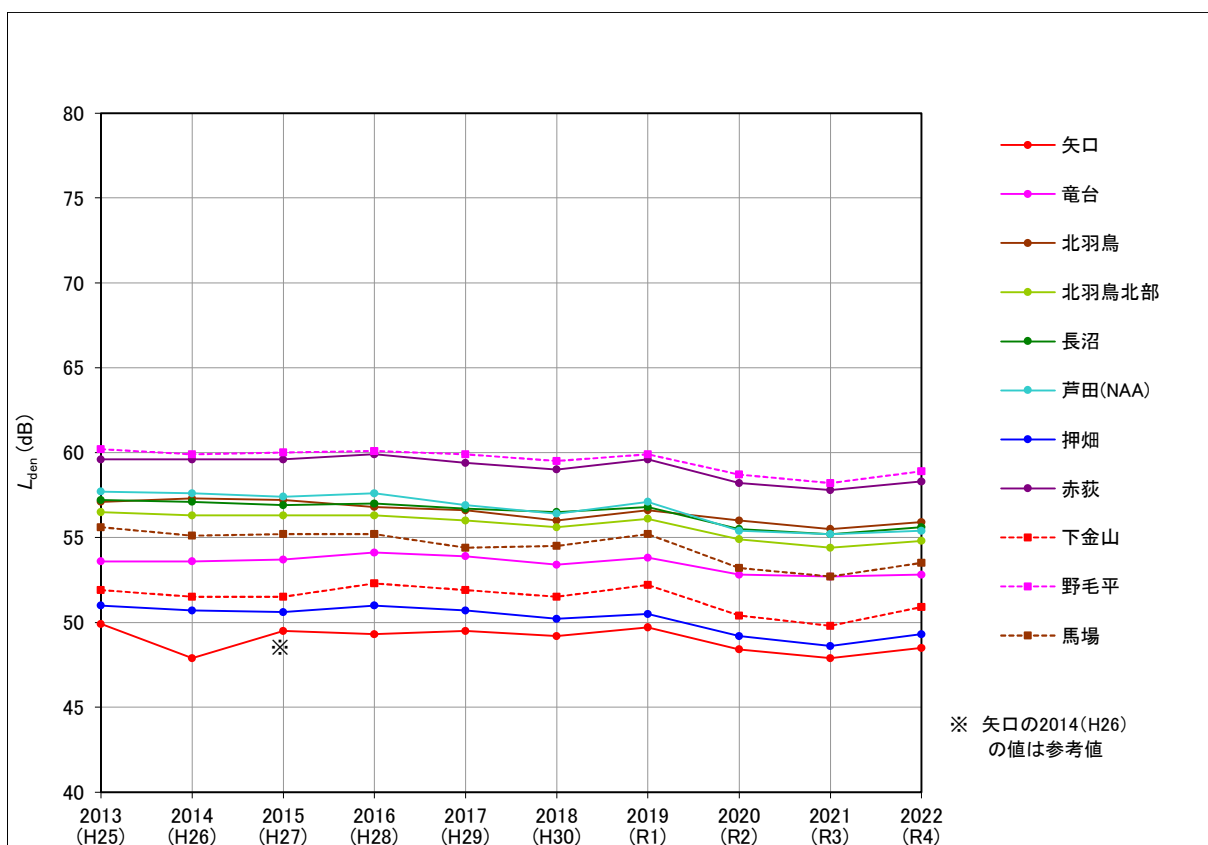
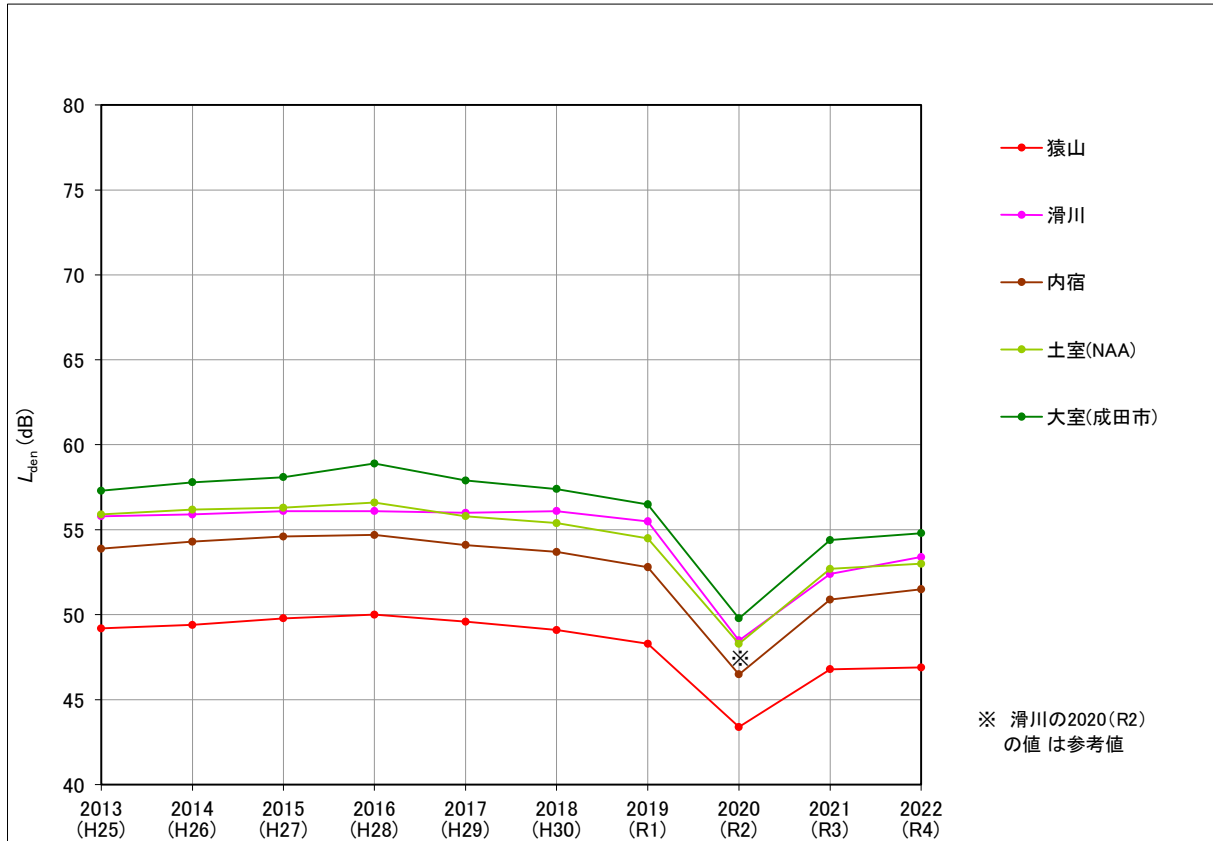


図 3-2-2 2013 (平成 25) 年度から 2022 (令和 4) 年度までの L_{den} 年間値の推移 (2/6)

⑤ B北側コース東



⑥北側谷間地区

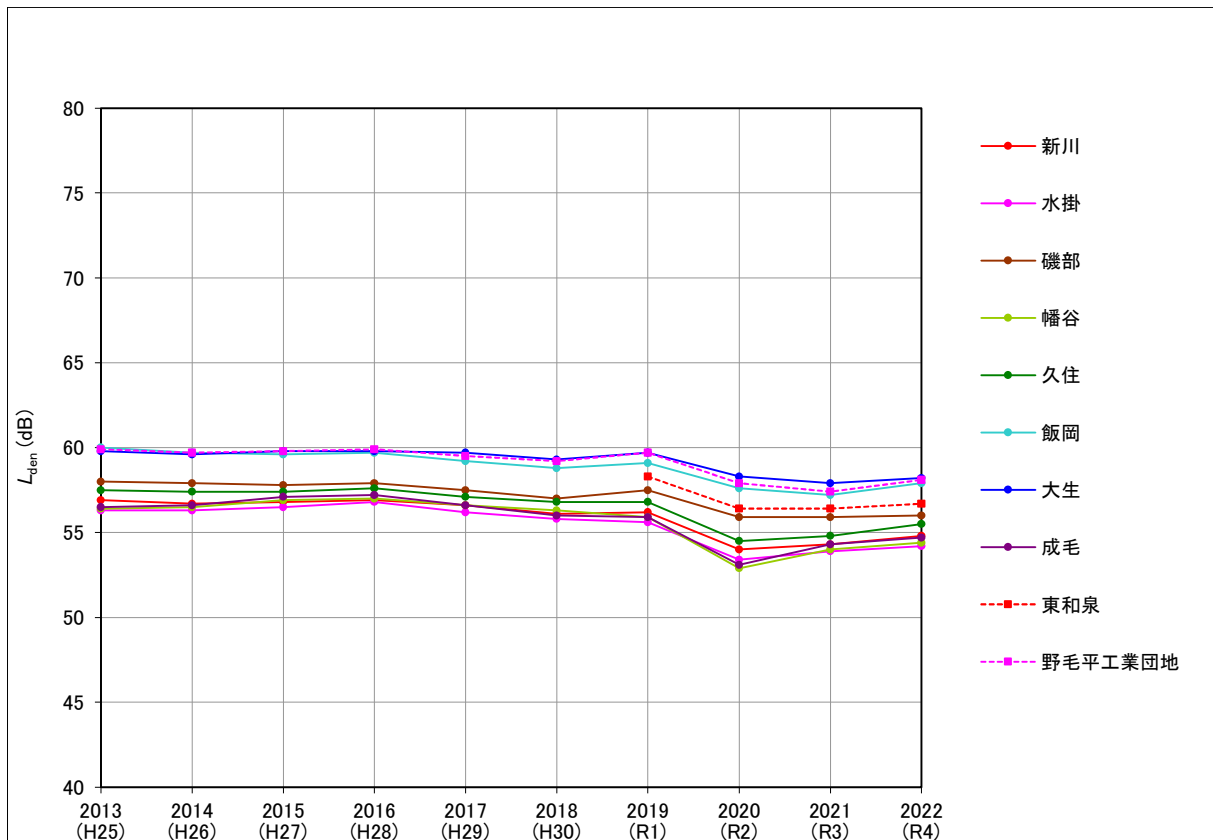
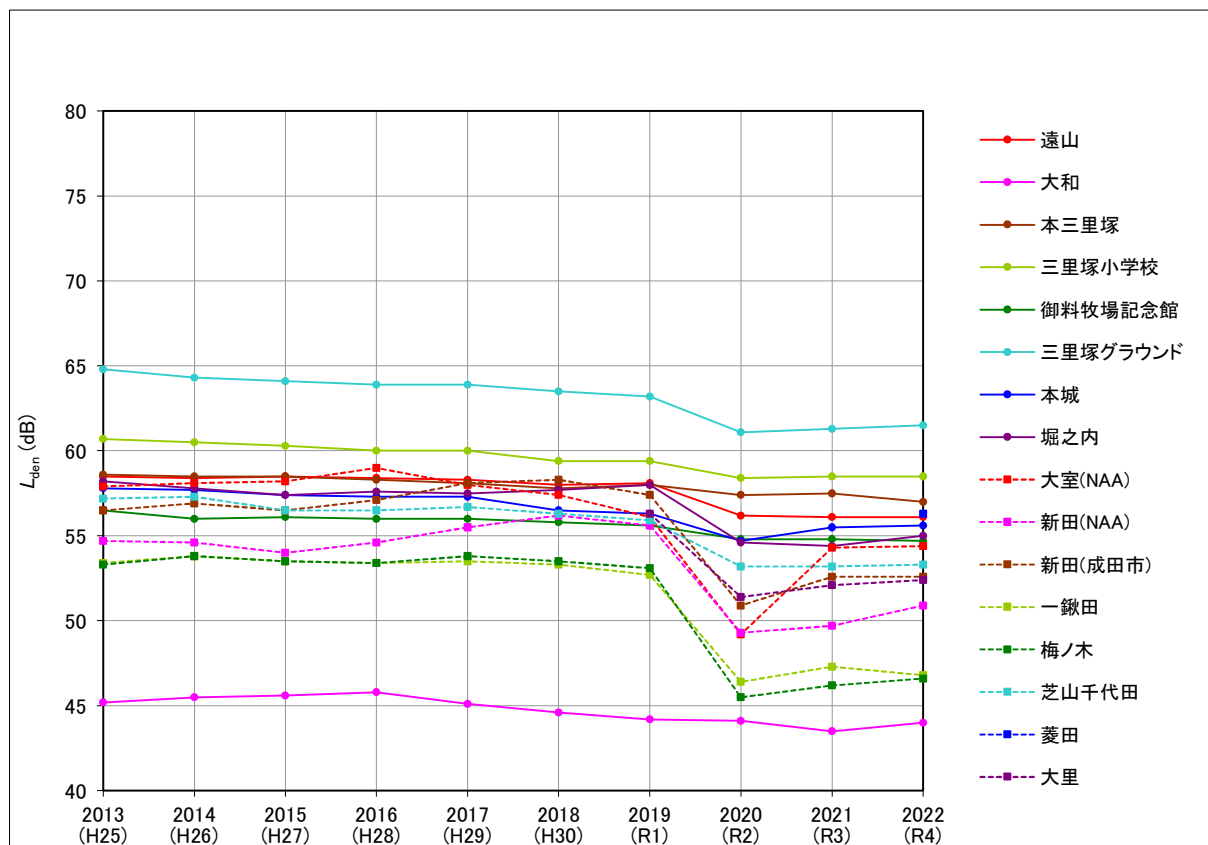


図 3-2-2 2013 (平成 25) 年度から 2022 (令和 4) 年度までの L_{den} 年間値の推移 (3/6)

⑦ 空港側方



⑧ A南側コース直下

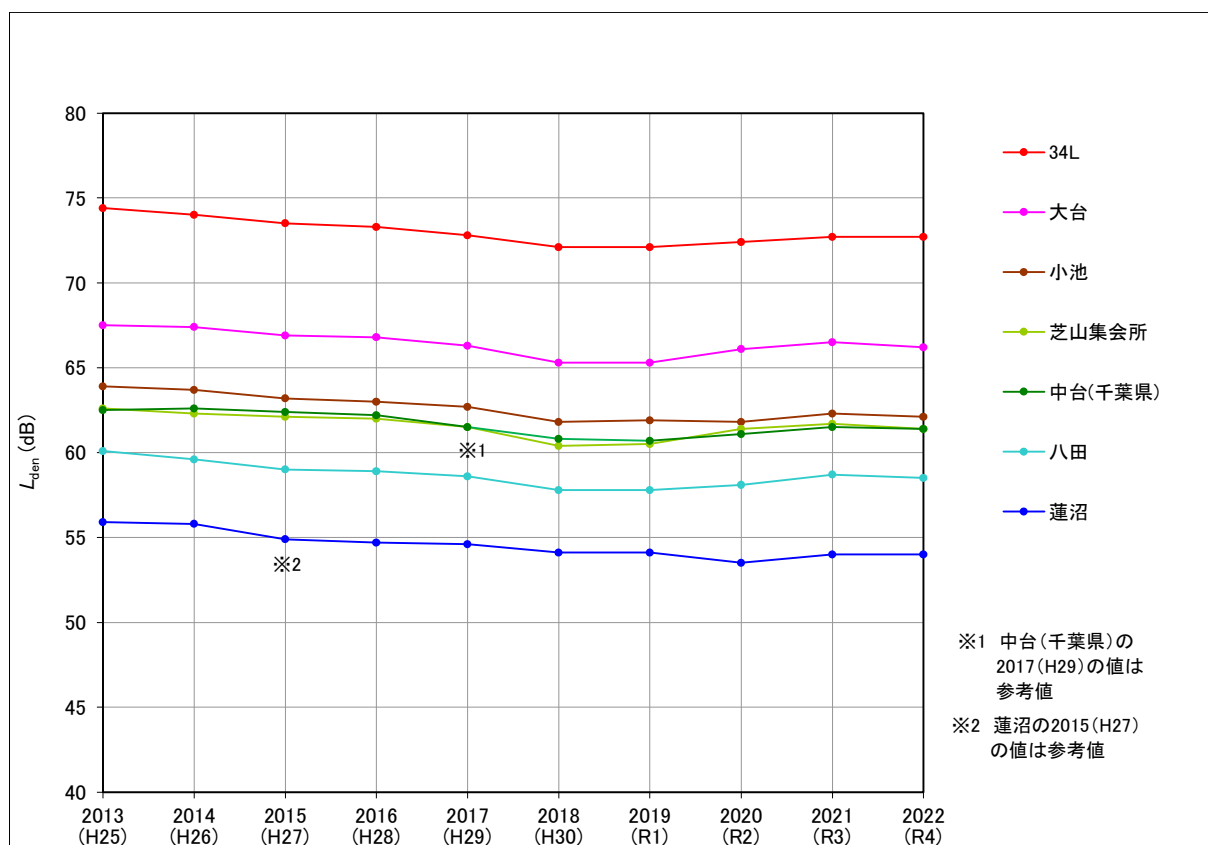
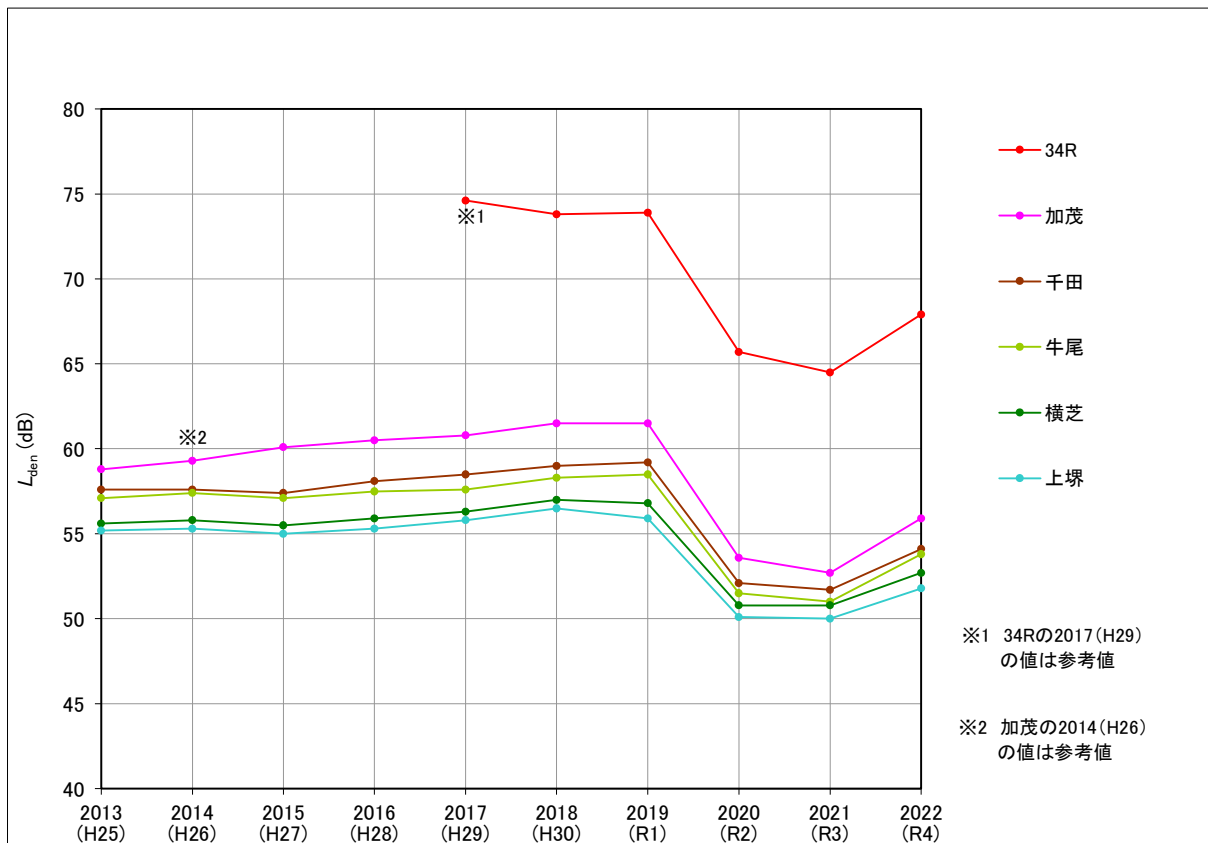


図 3-2-2 2013 (平成 25) 年度から 2022 (令和 4) 年度までの L_{den} 年間値の推移 (4/6)

⑨ B南側コース直下



⑩ A南側コース西

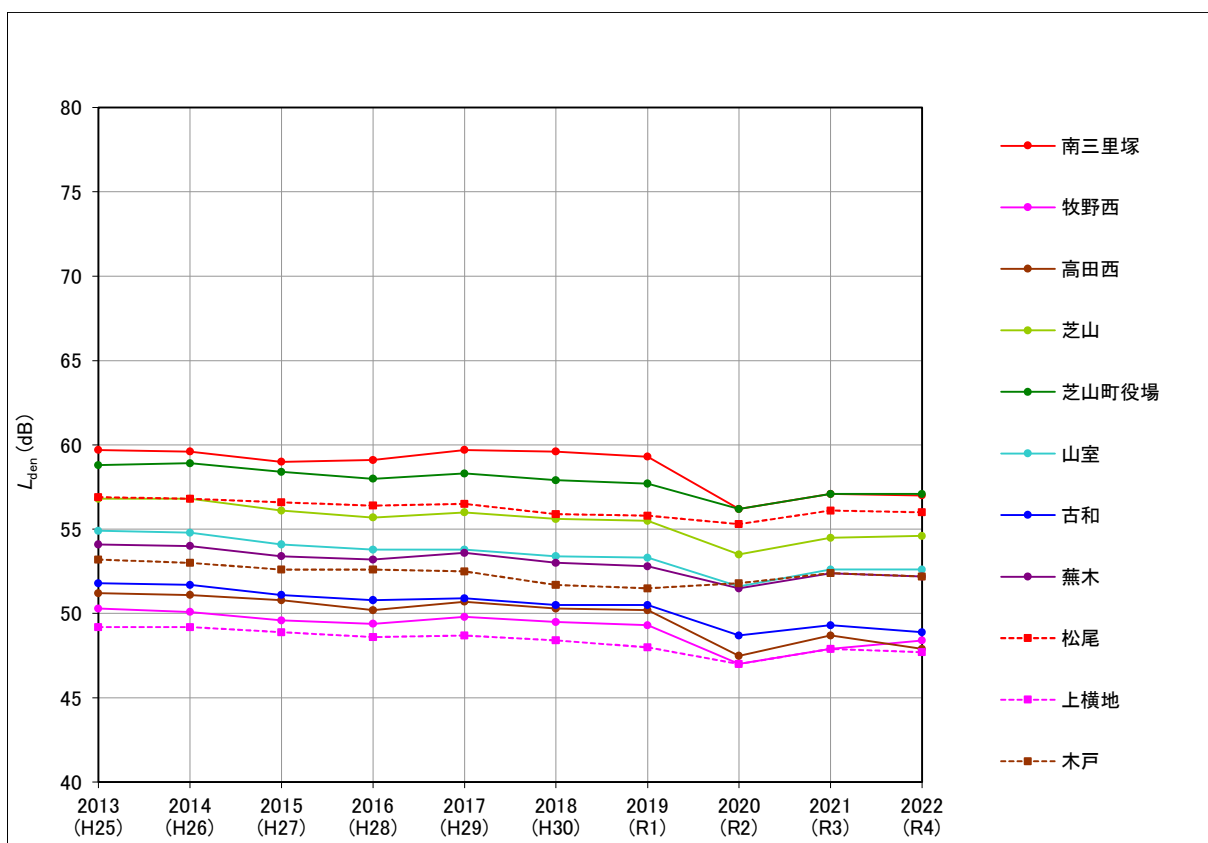
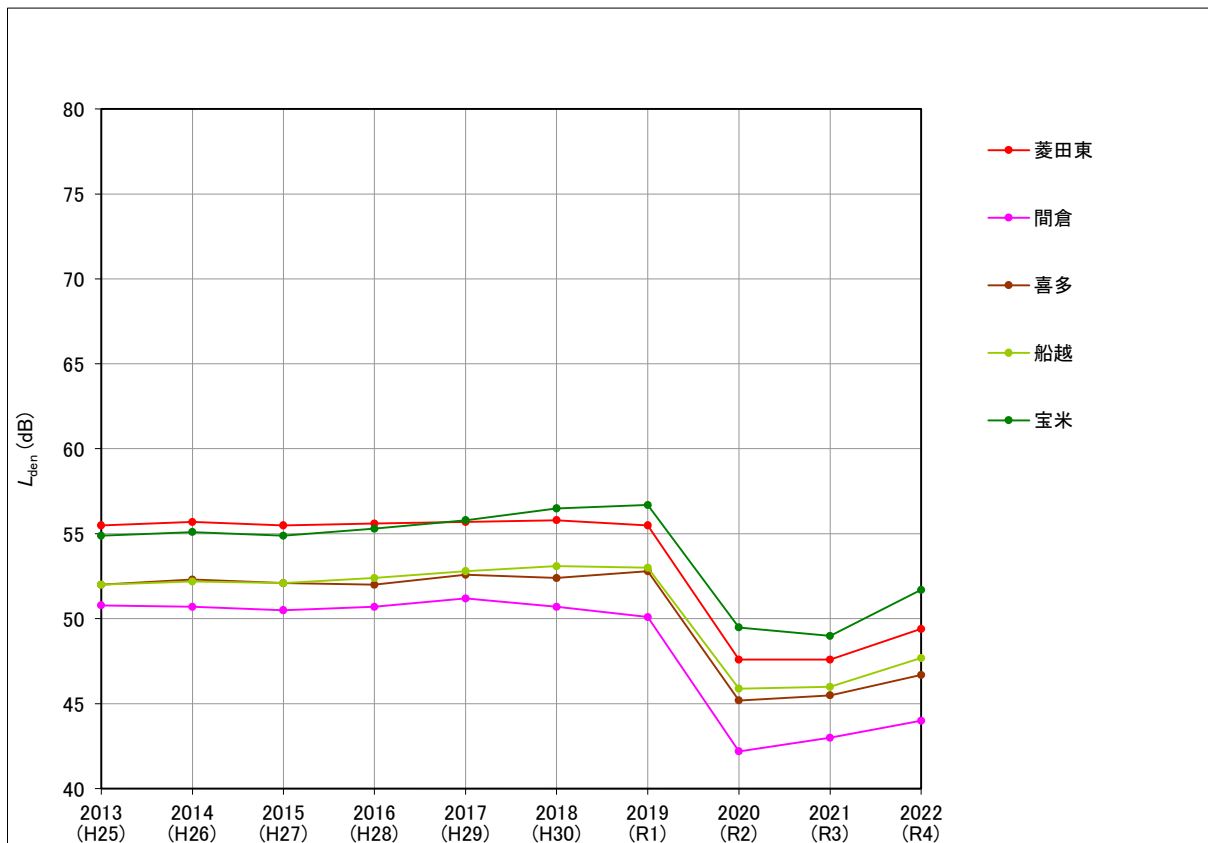


図 3-2-2 2013 (平成 25) 年度から 2022 (令和 4) 年度までの L_{den} 年間値の推移 (5/6)

⑪ B南側コース東



⑫ 南側谷間地区

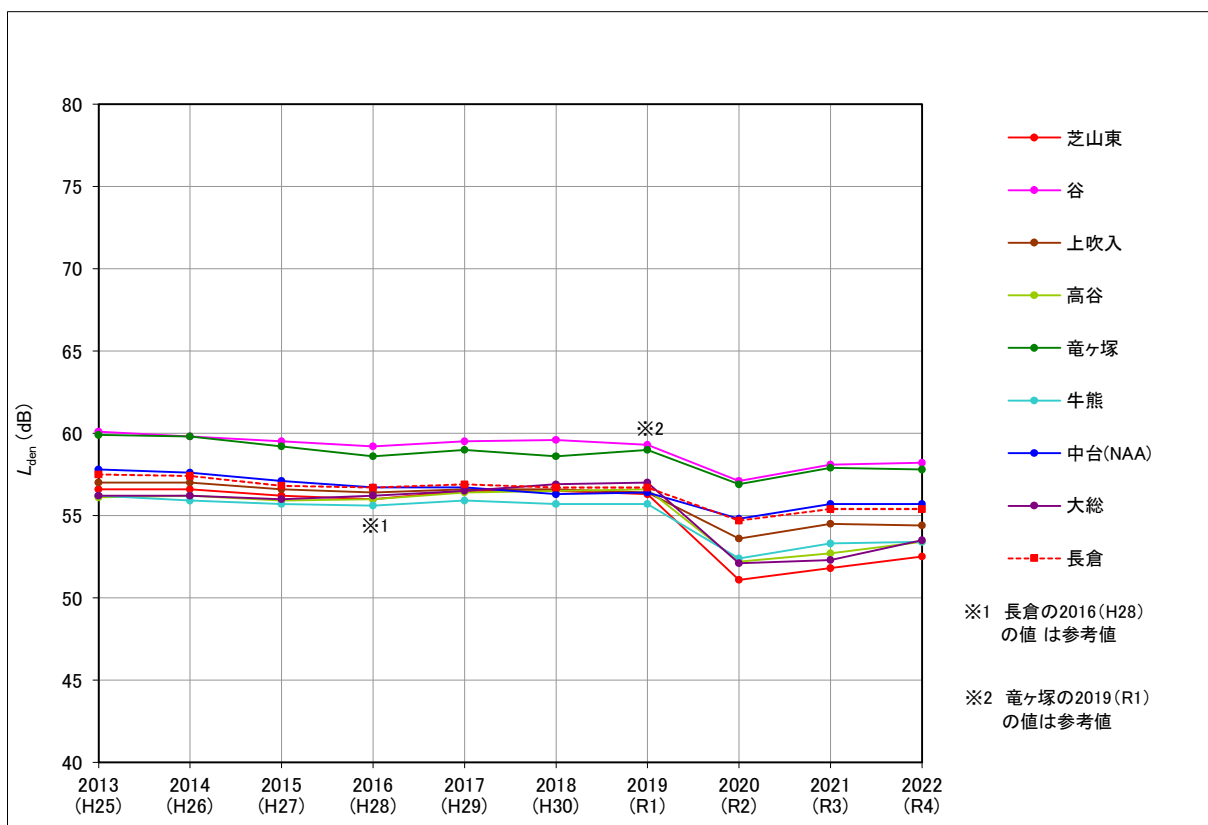


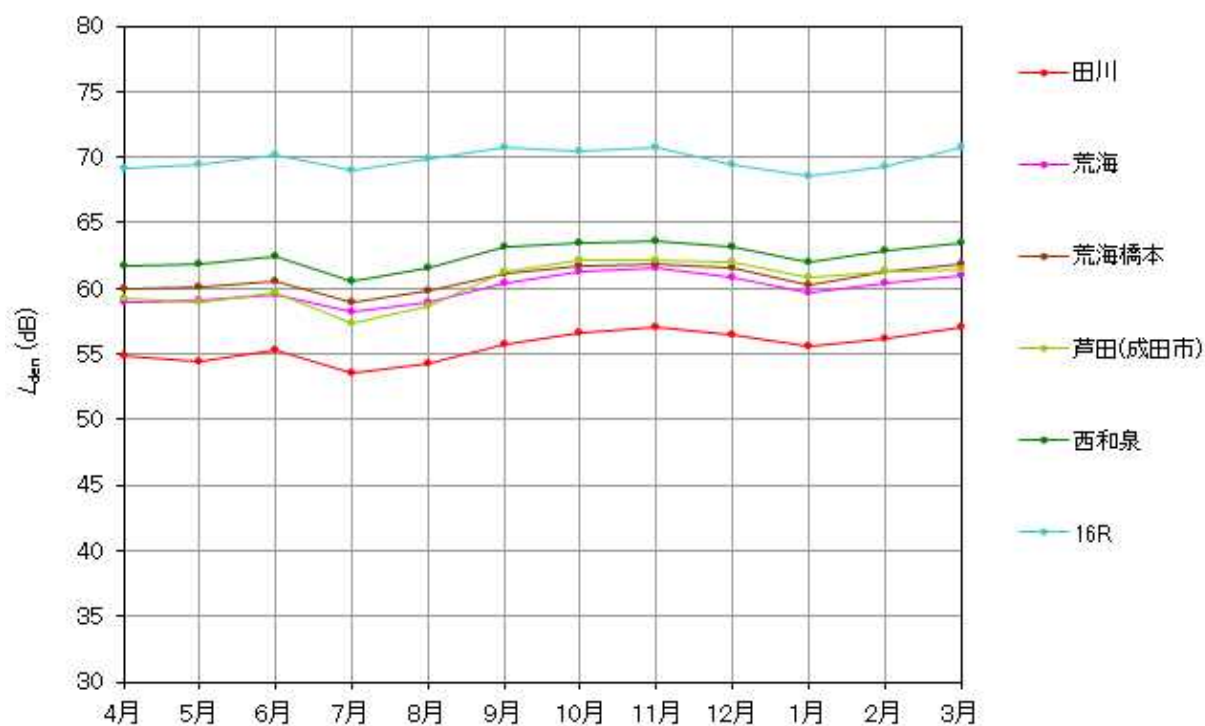
図 3-2-2 2013 (平成 25) 年度から 2022 (令和 4) 年度までの L_{den} 年間値の推移 (6/6)

①茨城県内（市内測定局がないため省略）

②A滑走路北側・コース直下

このエリアは、A滑走路北側の飛行経路直下に位置しており、6箇所に測定局が設置されている。これらの局ではA滑走路の離着陸騒音はもとより、B滑走路の離陸騒音も測定される地点もある。なお、B滑走路の着陸騒音については、ほとんど測定されない。

- 月間 L_{den} は、月ごとの変動幅が小さいが、2022（令和4）年度は前半が低く後半が高くなった。これはA滑走路北側の離着陸が増加傾向にあったためである。
- 日平均騒音発生回数は、A滑走路を離着陸する航空機の影響を大きく受ける。2022（令和4）年度は前述の理由により、後半の騒音発生回数が増加した。



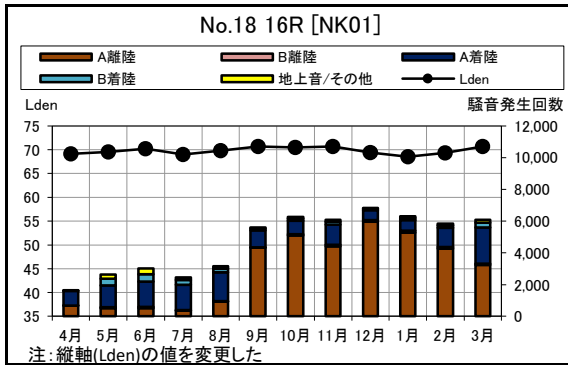
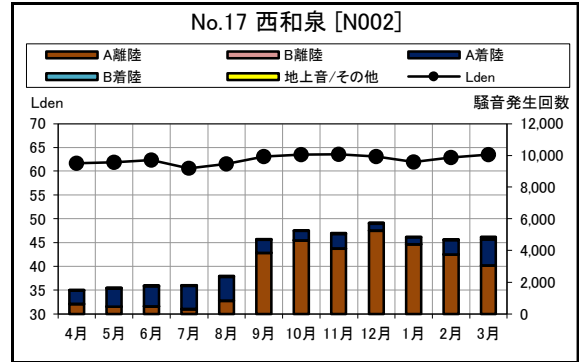
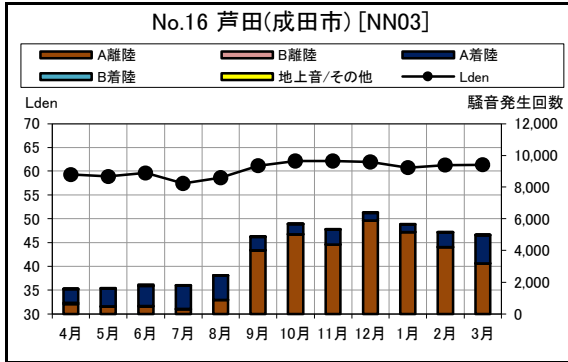
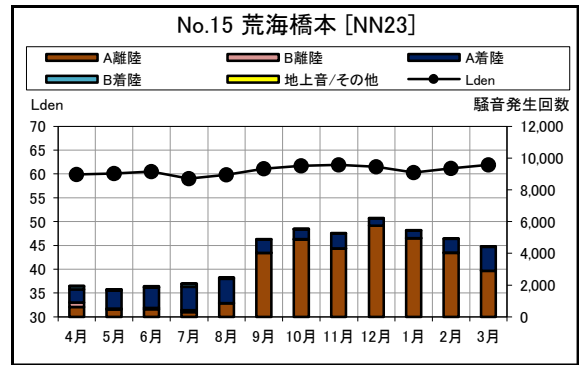
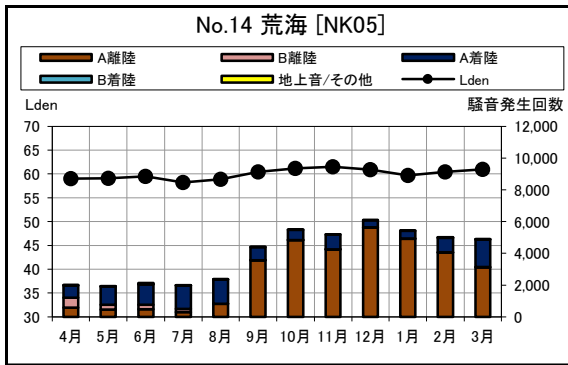
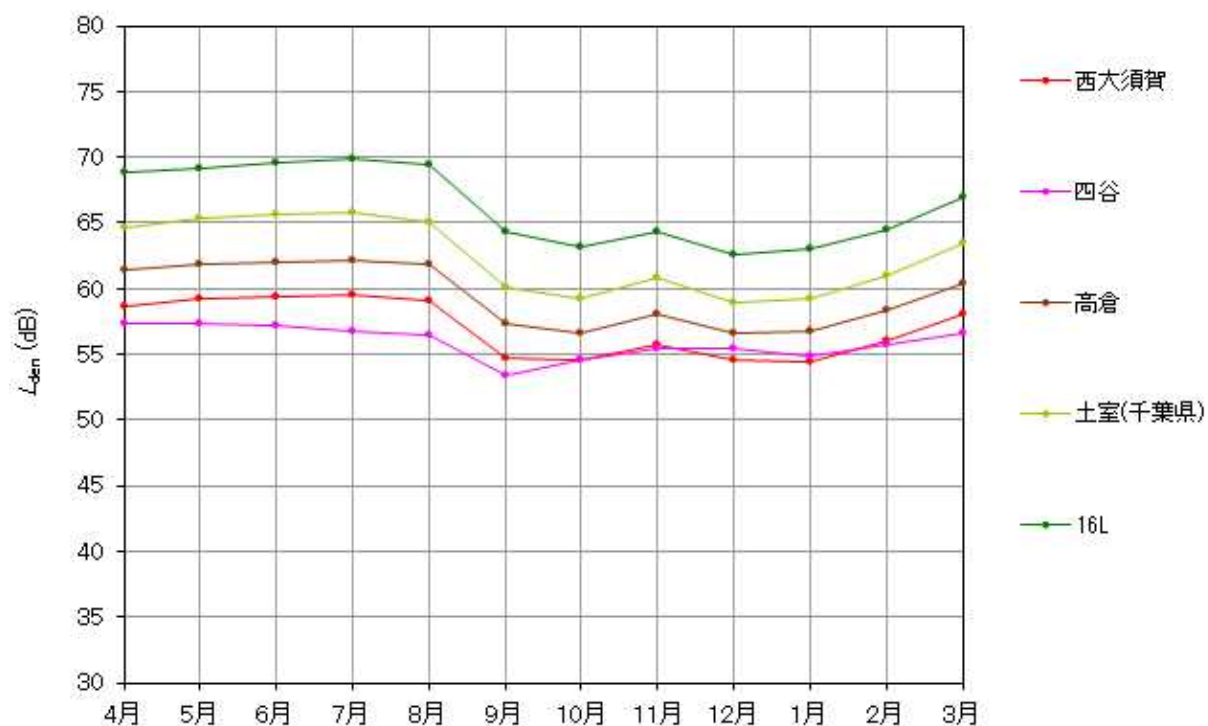


図 3-2-3 月間 Lden 及び月間累計騒音発生回数 (1/7)

③ B滑走路北側・コース直下

このエリアは、B滑走路北側の飛行経路直下に位置しており、5箇所に測定局が設置されている。これらの局ではB滑走路の離着陸騒音以外にもA滑走路の離着陸騒音が測定される。

- 月間 L_{den} は、例年、年間を通じて大きな変動が見られない傾向にあるが、2022（令和4）年度はB滑走路北側の離着陸が増加した前半に増加した。
- 日平均騒音発生回数は、例年、航空機の運航便数が減少する2月は減少する傾向にあるが、2022（令和4）年度はA滑走路の離着陸回数が増加した10月以降も増加傾向が見られた。



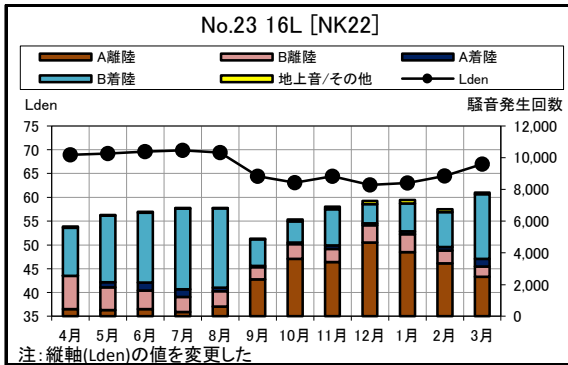
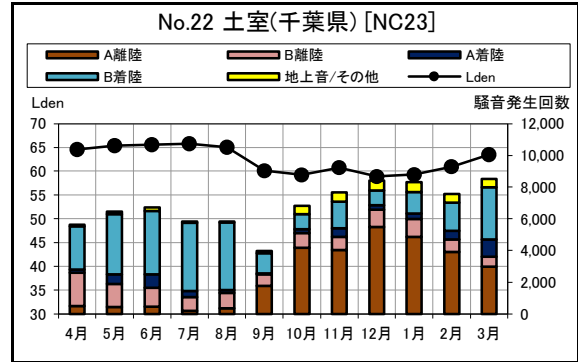
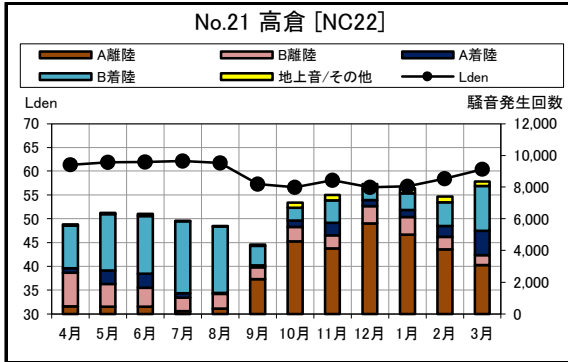
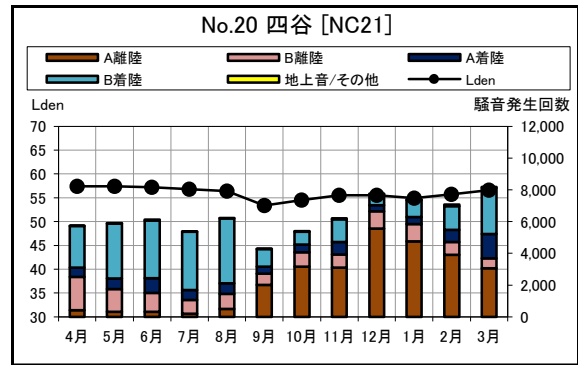
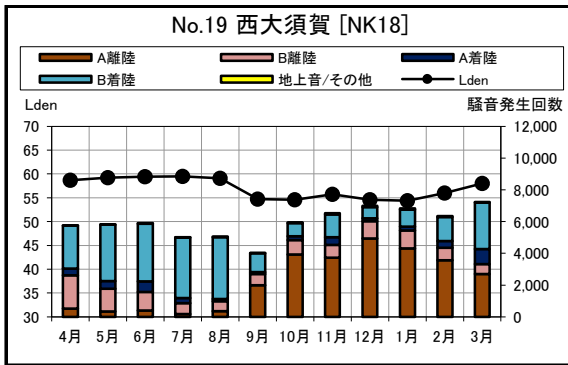
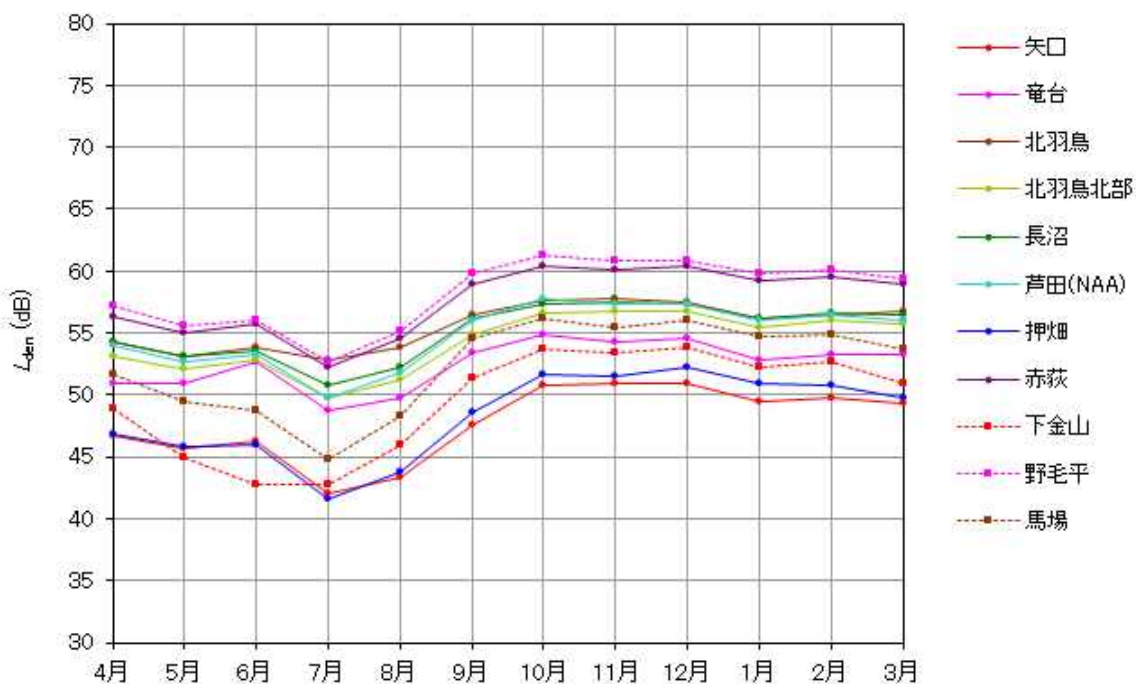


図 3-2-3 月間Lden 及び月間累計騒音発生回数 (2/7)

④ A滑走路北側・コース西

このエリアは、A滑走路北側の飛行経路西側に位置しており、11箇所に測定局が設置されている。これらの局ではA滑走路の離着陸騒音が主であり、B滑走路の離陸騒音は測定されるものの、その回数は僅かである。なおB滑走路の着陸騒音については、ほとんど測定されない。

- 月間 L_{den} は、全体的に5月～8月が低く、10月～1月が高くなる傾向にあるが、これはA滑走路を北側に離陸する航空機の影響を大きく受けるためである。なお、2022（令和4）年度は9月以降のA滑走路北側の離着陸回数増加に併せて増加した。
- 日平均騒音発生回数は、8月は少なく、10月～12月に多くなる傾向にあるが、令和4年度は、前述の理由により、9月以降に増加した。このエリアではA滑走路を離陸する航空機の影響を大きく受けるため、A滑走路の北側への離陸機が少なくなる春季から夏季に日平均騒音発生回数が減少し、A滑走路北側への離陸機が多くなる秋季から冬季に増加する。B滑走路を離着陸する航空機の影響はほとんどなく、さらに、下金山や馬場では、着陸の仰角（航空機を見上げる角度）が低いため、A滑走路北側の着陸の騒音もほとんど測定されていない。



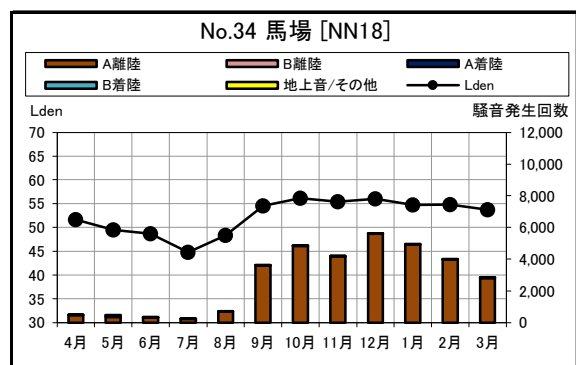
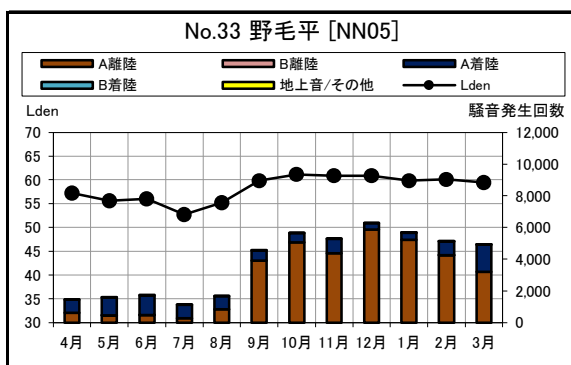
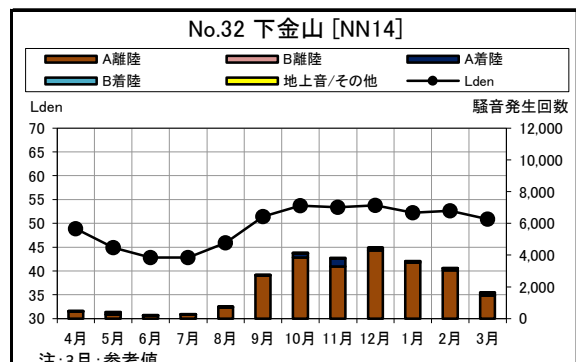
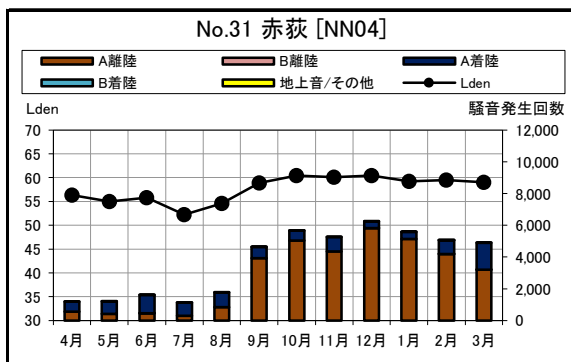
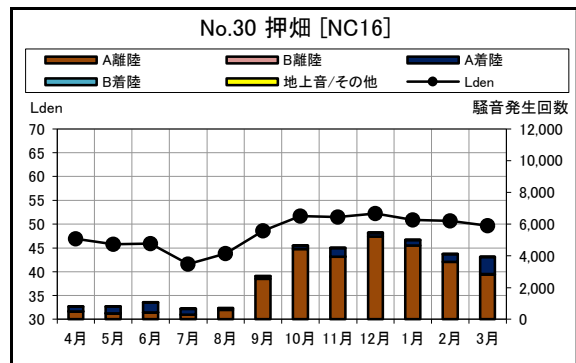
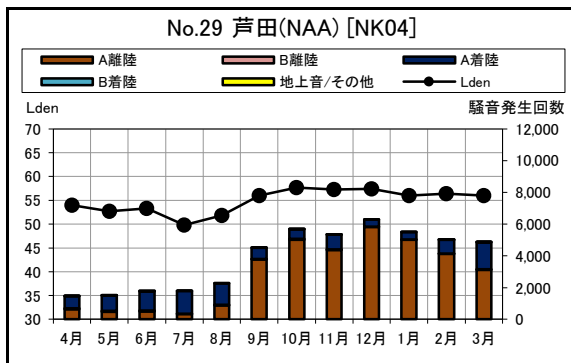
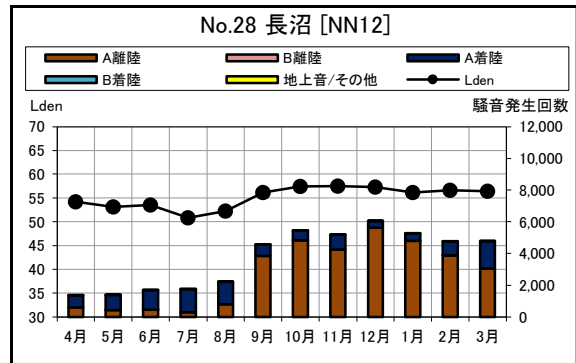
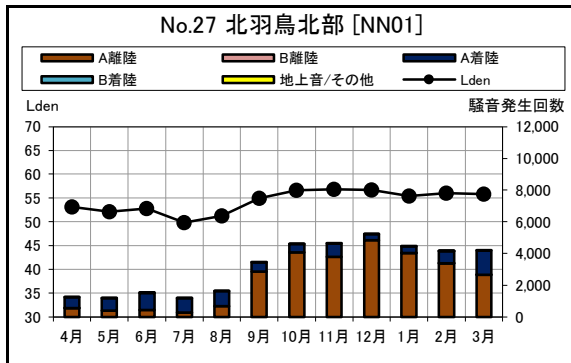
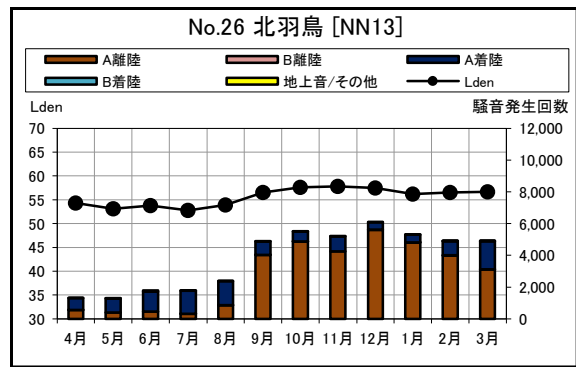
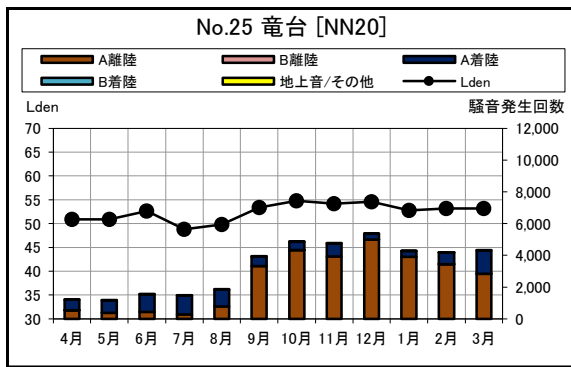
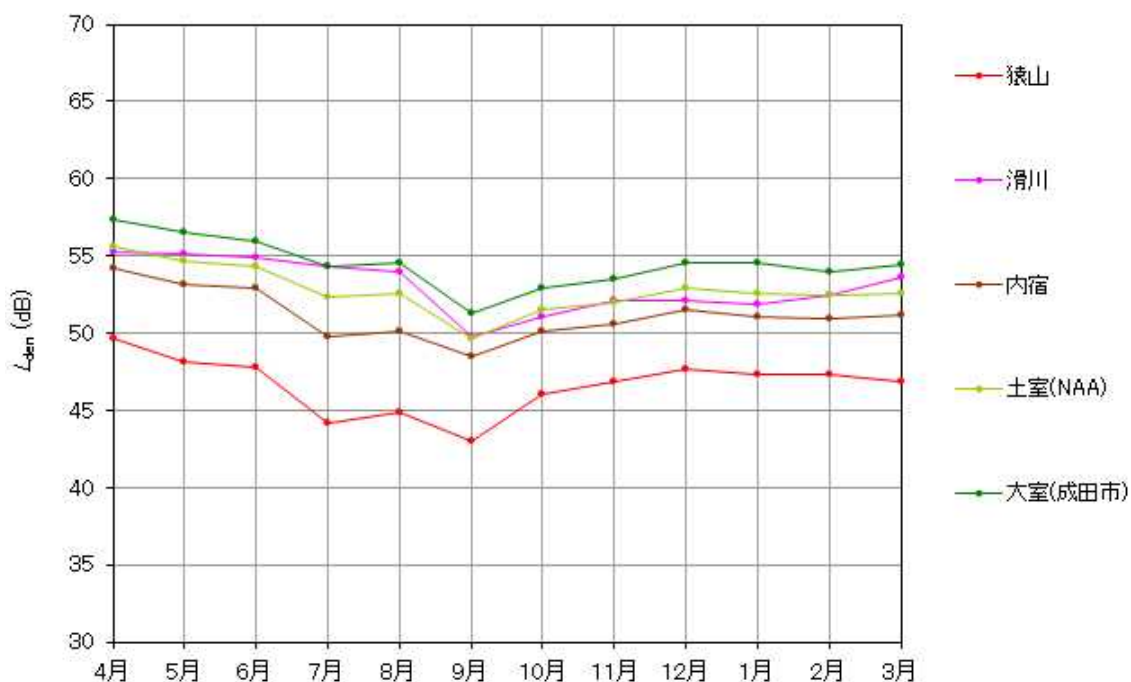


図 3-2-3 月間Lden及び月間累計騒音発生回数 (3/7)

⑤ B滑走路北側・コース東

このエリアは、B滑走路北側の飛行経路東側に位置しており、5箇所に測定局が設置されている。これらの局ではB滑走路の離着陸騒音はもとより、A滑走路の離陸騒音も多く測定される。また、A滑走路の着陸騒音も数は少ないものの測定される。

- 月間 L_{den} は、夏季の減少が見られるが、これはセミなどの妨害音による影響と考えられる。
- 日平均騒音発生回数は、夏季に北側への離陸機が少なくなるため減少し、冬季は北側への離陸機が多くなるため増加する傾向にある。なお、夏季の減少は、セミなどの妨害音による影響と考えられる。



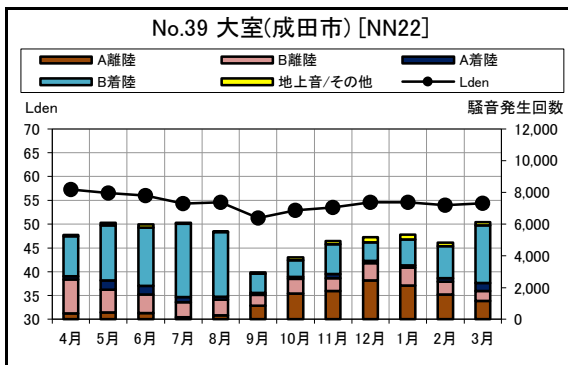
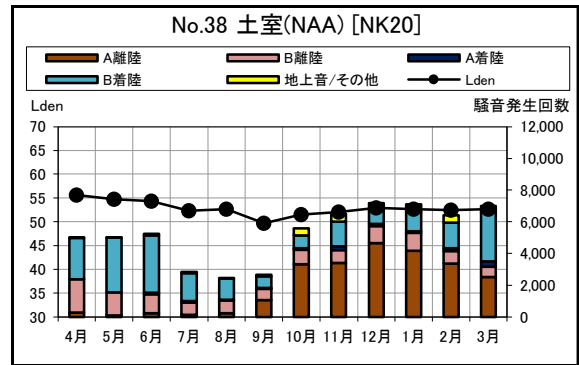
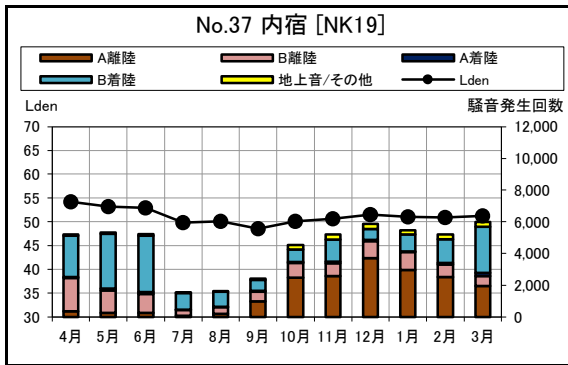
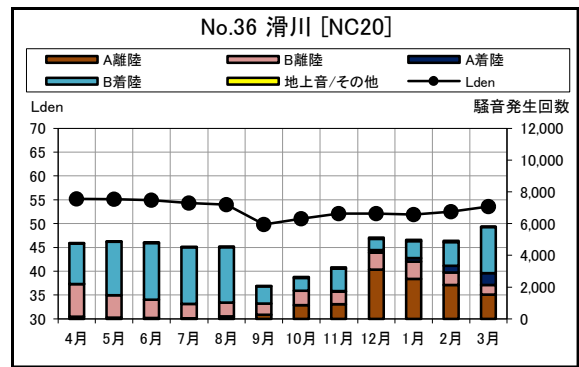
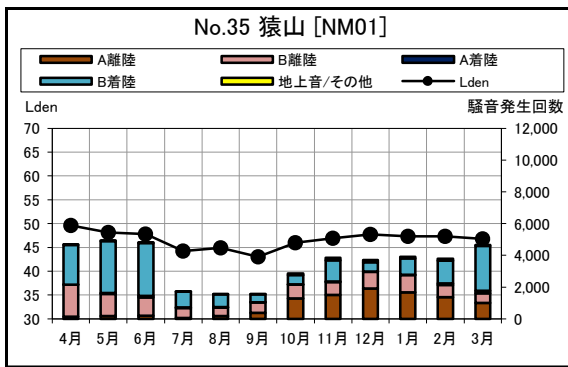
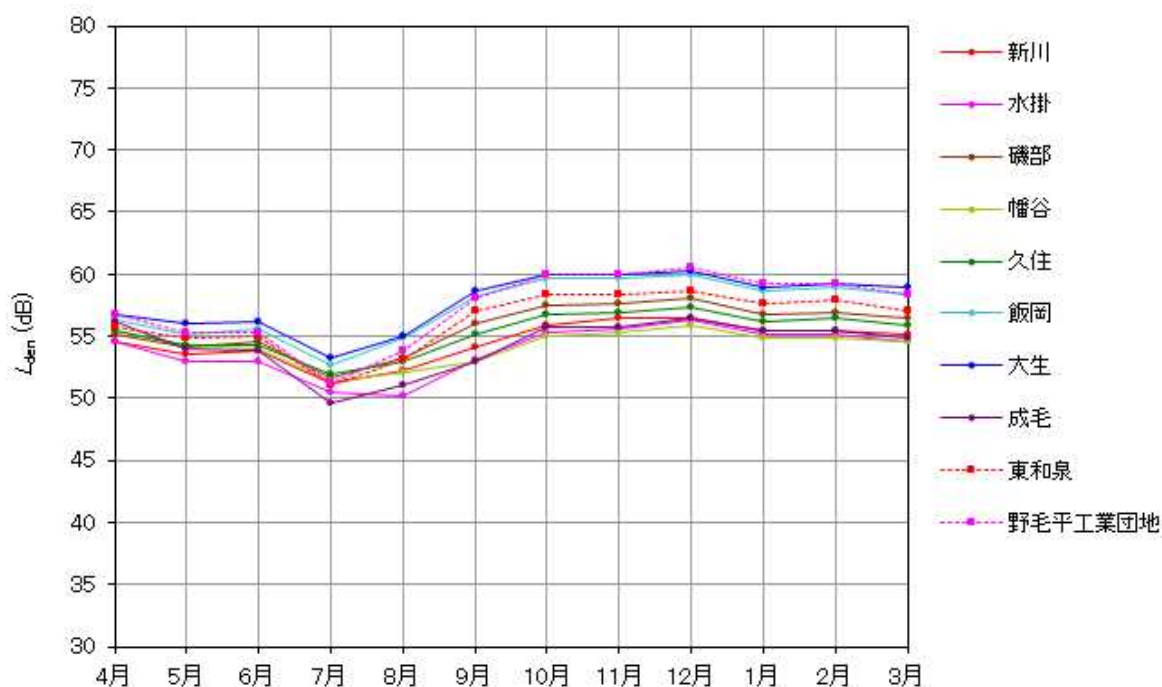


図 3-2-3 月間Lden及び月間累計騒音発生回数 (4/7)

⑥北側谷間地区

このエリアは、A・B両滑走路北側飛行経路の間に位置しており、10箇所に測定局が設置されている。これらの局ではA・B両滑走路の離着陸騒音が測定されており、空港に近い地点では着陸後のリバース音も測定されるエリアである。

- 月間 L_{den} は、5月～8月が低く、10月～2月が高くなる傾向にある。このエリアは北側への離陸機の方が北側からの着陸機より騒音レベルが高く観測されるため、北側からの着陸機が多くなる春季から夏季は低く、北側への離陸機が多くなる秋季から冬季は高くなる。
- 日平均騒音発生回数は、5月～8月にかけて減少する傾向にある。この時期は北側からの着陸機が多くなるが、カエル、セミやコオロギなどによる妨害音の影響と考えられる。



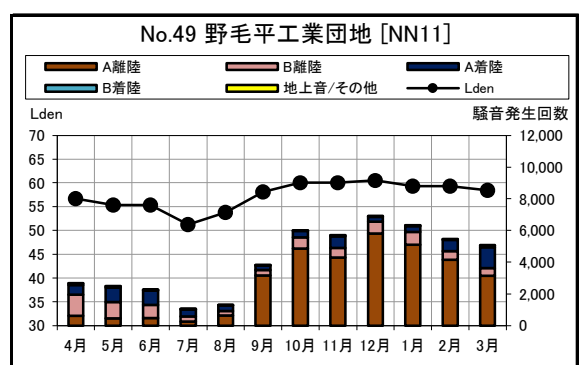
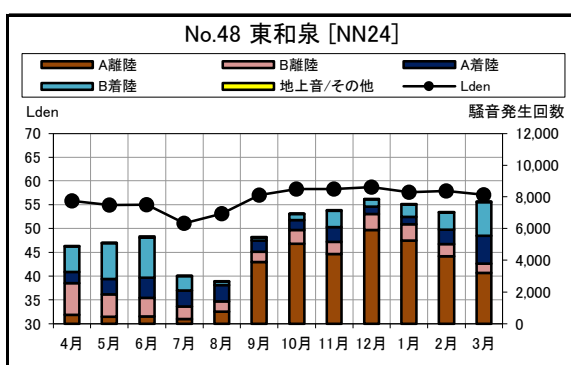
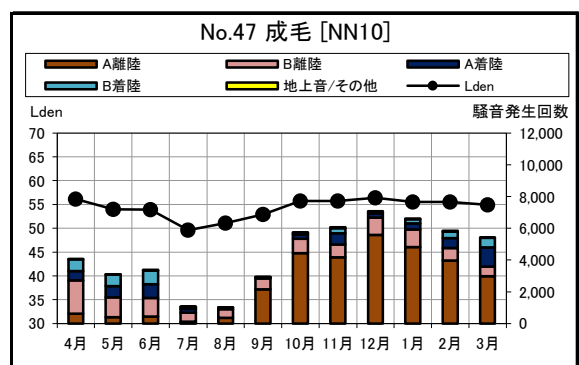
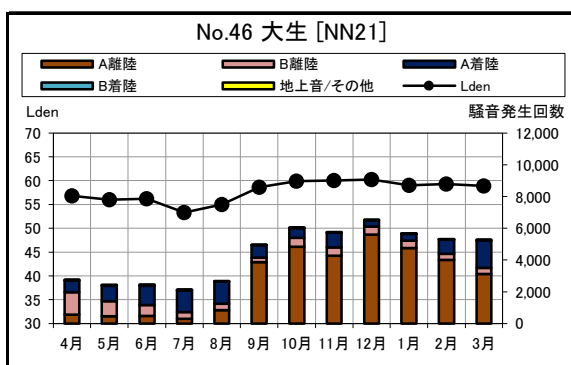
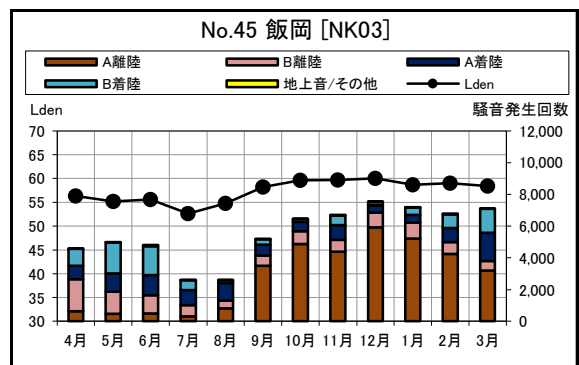
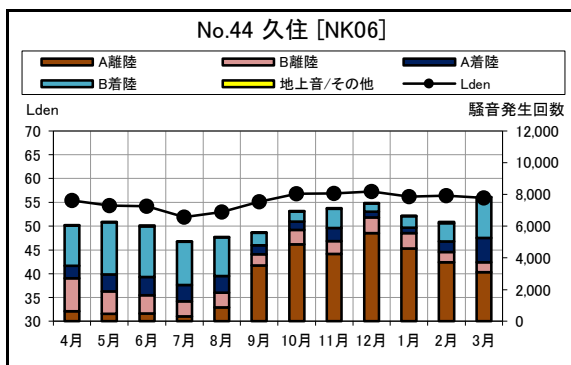
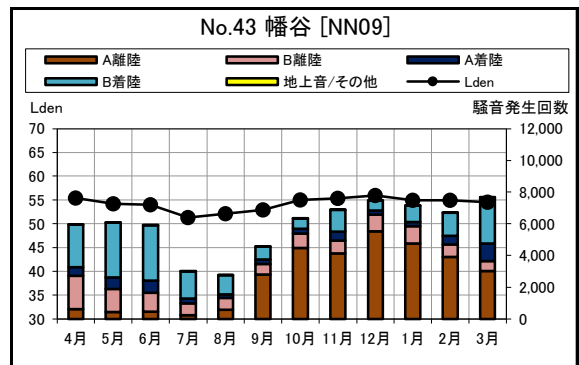
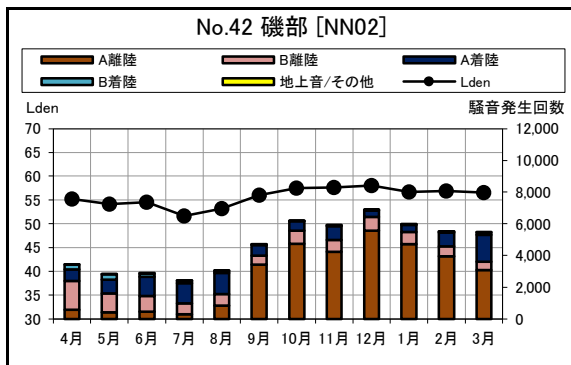
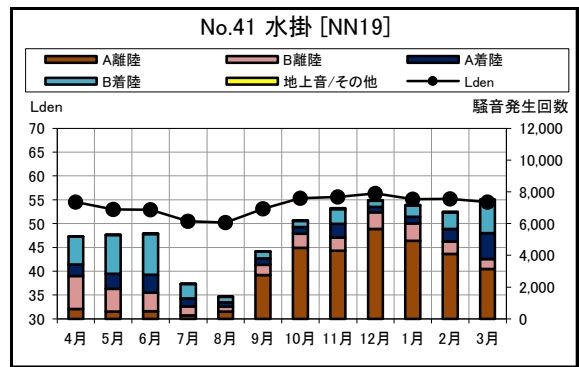
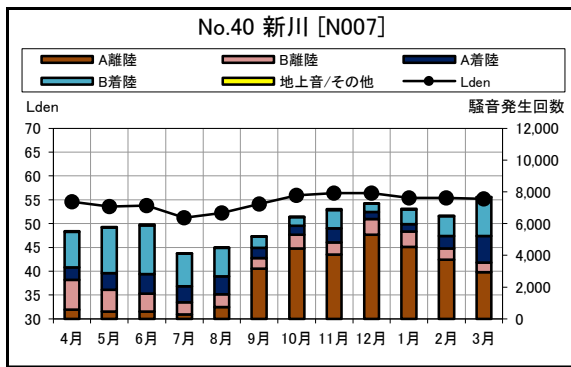
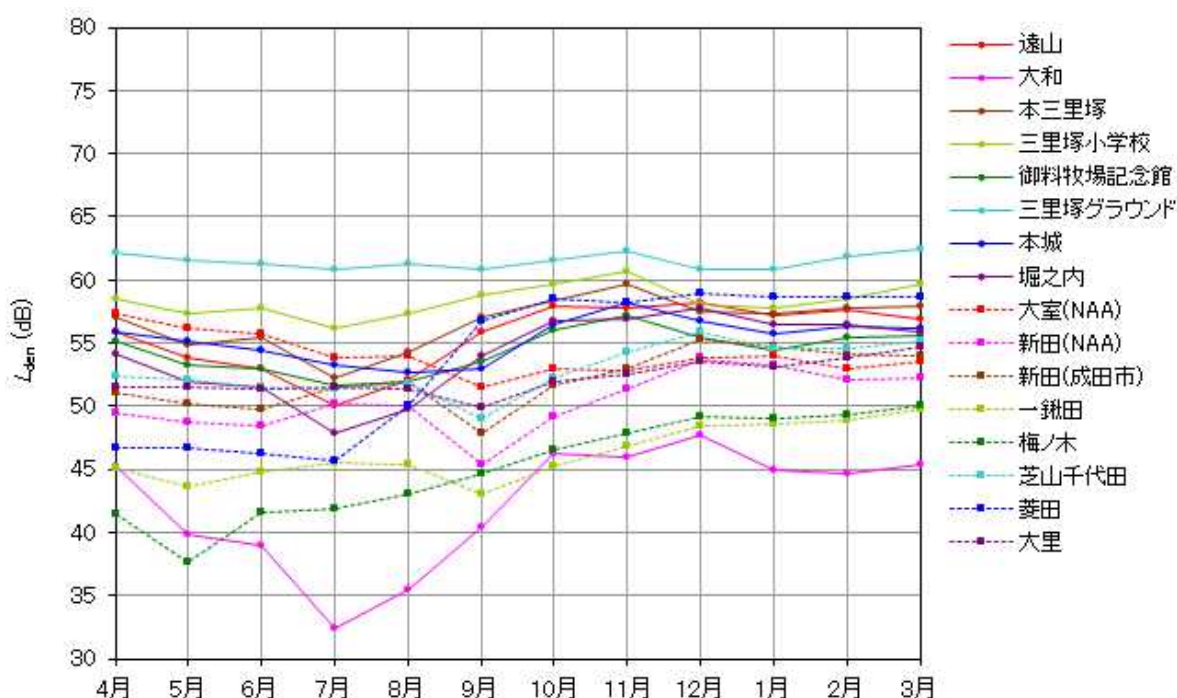


図 3-2-3 月間 Lden 及び月間累計騒音発生回数 (5/7)

⑦空港側方

このエリアは、空港周辺で空港を挟むように位置しており 16 箇所に測定局が設置されている。これらの局は空港に近いことから、離着陸騒音以外に着陸後のリバース音、航空機の地上走行（タクシーイング）音及びエンジン試運転時の音などの地上騒音が聞こえる地点も多い。これらの音は風向きなどの影響を受けやすいため、騒音レベルが日によって大きく変化するなどの特徴がある。また、滑走路の運用方向の影響を大きく受けるため、A滑走路側とB滑走路側では傾向が異なる。

- 月間 L_{den} は、A滑走路に近い三里塚グラウンドや三里塚小学校では変動が小さい。一方、飛行コースから離れている大和では月間 L_{den} の変動幅が大きい。その他の測定局は、滑走路の運用方向の違いにより若干変動している。
- 日平均騒音発生回数は、全体的にバラツキが大きく、季節ごとの傾向がはっきりしていないものの、5月～8月は減少傾向が見られるが、セミなどの妨害音による影響と考えられる。このエリアでは使用滑走路の方向（北向き、南向き）の違いなどにより騒音発生回数が変わるため、明確な傾向が表れにくい。A滑走路側では、A滑走路の離着陸騒音が主で、滑走路に近い測定局では地上騒音も測定される。B滑走路側では、B滑走路の離着陸騒音の他にA滑走路の離着陸騒音も測定され、滑走路に近い測定局では地上騒音も測定される。



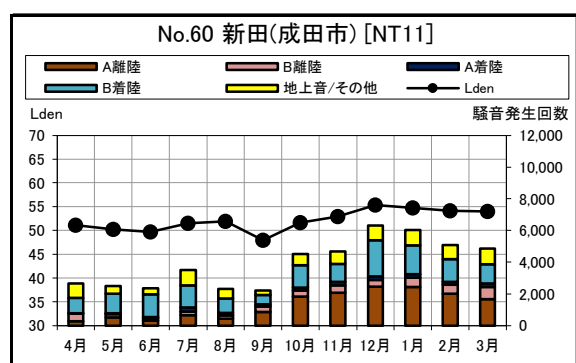
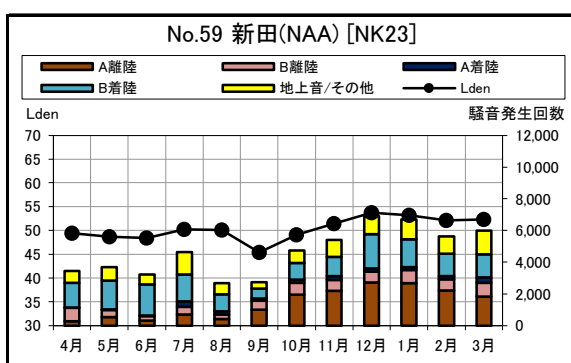
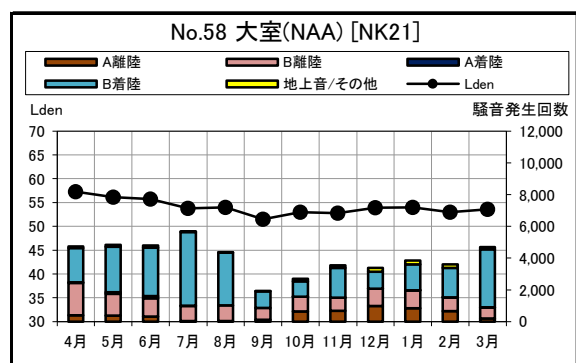
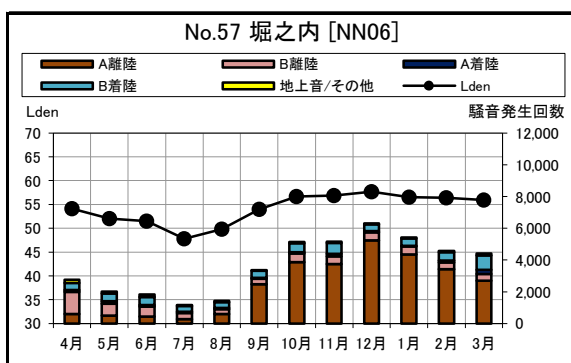
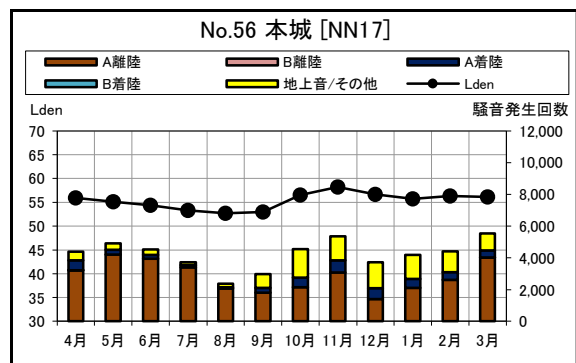
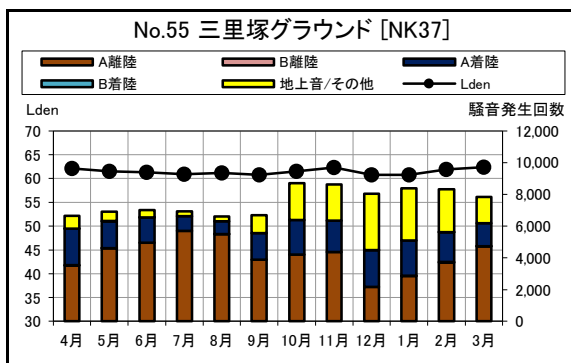
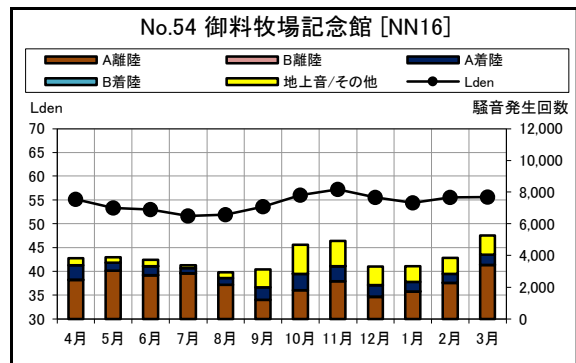
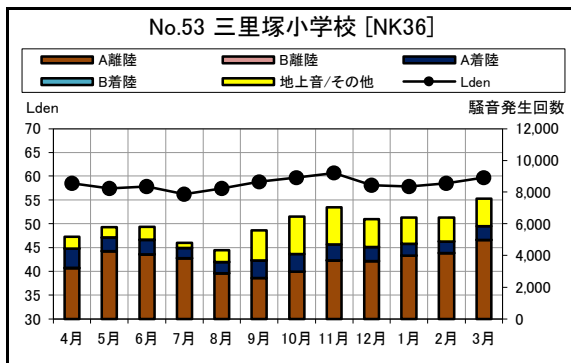
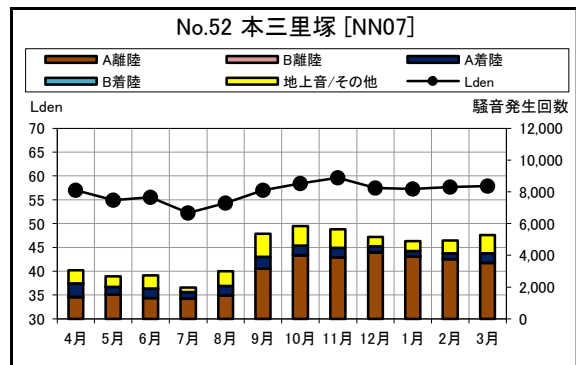
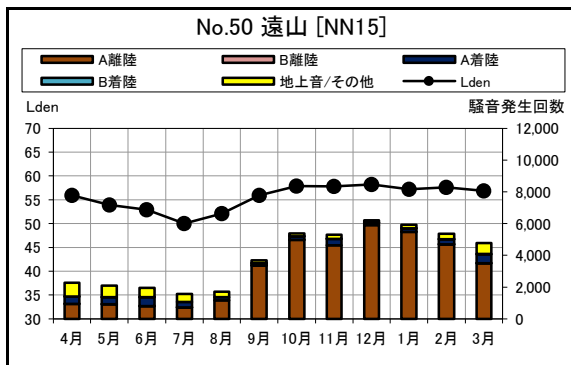


図 3-2-3 月間 Lden 及び月間累計騒音発生回数 (6/7)

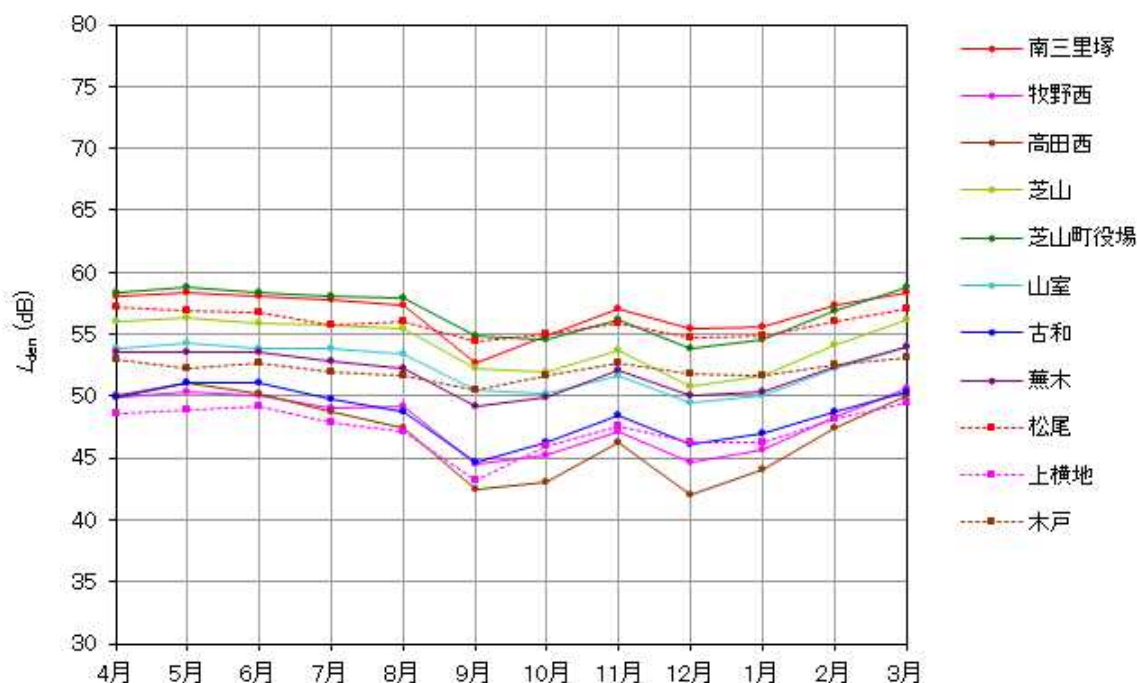
⑧ A滑走路南側・コース直下（市内測定局がないため省略）

⑨ B滑走路南側・コース直下（空港内測定局のみのため省略）

⑩ A滑走路南側・コース西

このエリアは、A滑走路南側の飛行経路西側に位置し、11箇所に測定局が設置されている。これらの局はA滑走路の離着陸騒音が主であるが、B滑走路の離着陸騒音も僅かながら測定される局もある。

- 月間 L_{den} は、年間を通して変動幅が小さいが、このエリアではA滑走路の南側に離陸する航空機の影響を大きく受けるため、離陸機が多くなる春季から夏季は高く、逆に離陸機が少なくなる秋季から冬季は低くなる傾向がある。2022（令和4）年度は、冬季のA滑走路南側への離着陸機が増加したため、冬季も高くなった。
- 日平均騒音発生回数は、下半期に増加する傾向が見られるが、これは秋季から冬季のA滑走路南側への着陸機が増加することによるものである。なお、8月～9月に騒音発生回数が少なくなっているのは、セミなどの妨害音による影響と考えられる。



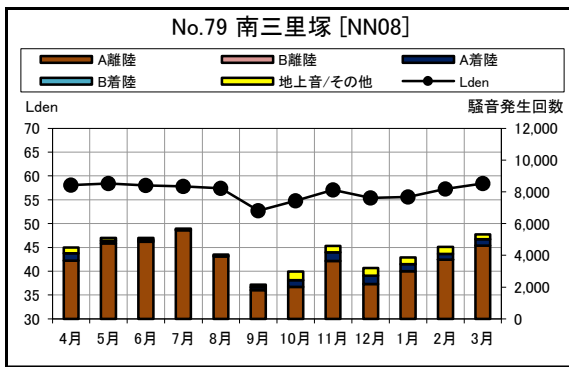


図 3-2-3 月間 Lden 及び月間累計騒音発生回数 (7/7)

⑪ B滑走路南側・コース東 (市内測定局がないため省略)

⑫ 南側谷間地区 (市内測定局がないため省略)

3-3 本市における騒音対策の方向性について

A滑走路では、2019（令和元）年10月27日（冬ダイヤ）から、空港開港以来、初めて夜間飛行制限が変更され、運用時間が1時間延長されて0時までとなった。これに伴い、A滑走路では、22時台の離着陸を10便までとする便数制限が廃止され、離着陸制限（カーフェュー）の弾力的運用の時間帯は0時から0時30分までの30分間に変更された。

この夜間飛行制限の変更については、睡眠や健康への影響を懸念する声が上がっていることを踏まえ、騒音対策として、23時以降に運航する航空機を低騒音機に限定することや、騒音の大きい一定の範囲を対象に、共生財団による内窓設置工事の助成事業が実施されている。

また、健康影響調査を含む生活環境への影響調査を実施することとされ、学識経験者などで構成される成田国際空港航空機騒音健康影響調査委員会において、具体的な実施時期、調査項目及び調査方法などが審議のうえで立案され、それに基づき調査が実施される予定である。

2022（令和4）年度夜間時間帯（22:00～5:00）発着回数状況を表3-3-1に示す。

23時台における1日当たりの平均発着回数は4.9回であり、本市域が位置する空港北側では2.7回であった。

表3-3-1 2022（令和4）年度夜間時間帯（22:00～5:00）発着回数状況（A滑走路）

月	空港北側			空港南側			合計		
	22時台	23時台	0時以降	22時台	23時台	0時以降	22時台	23時台	0時以降
4	218	58	0	267	54	0	485	112	0
5	196	45	0	287	78	0	483	123	0
6	240	64	1	280	97	0	520	161	1
7	197	23	0	322	129	0	519	152	0
8	248	46	0	343	137	1	591	183	1
9	302	115	0	202	45	0	504	160	0
10	325	127	0	155	35	0	480	162	0
11	307	115	0	179	39	0	486	154	0
12	340	129	1	154	36	1	494	165	2
1	316	103	2	135	28	0	451	131	2
2	283	100	0	186	47	2	469	147	2
3	250	74	1	279	76	1	529	150	2
合計	3,222	999	5	2,789	801	5	6,011	1,800	10
日平均	8.8	2.7	0.0	7.6	2.2	0.0	16.5	4.9	0.0

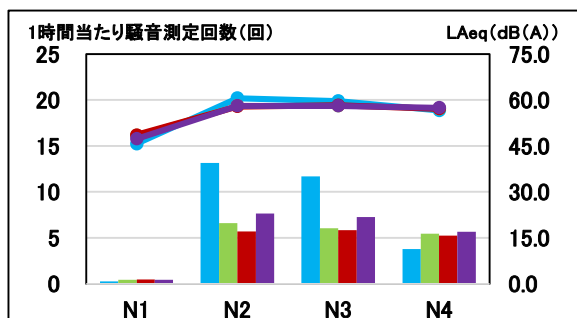
次に、騒音測定回数と LAeq の関係を図 3-3-1 に示す。なお、成田市設置測定局をエリア順かつ当該エリアで北に位置する測定局より順に配置した。

「1-7 新型コロナウイルス感染症の流行に伴う運航状況の変化について」で記載したが、0 時から 22 時まで（N1 時間帯から N3 時間帯まで）では、全体的な傾向と変わらず、2020（令和 2）年度は大幅に減少したが、2021（令和 3）年以降は徐々に回復してきている。一方で、22 時から 0 時まで（N4 時間帯）では、全体的な傾向と異なり、2019（令和元）年度と同水準かそれ以上の水準で推移している。なお、この傾向は A 滑走路側で顕著である。これは、2019（令和元）年 10 月 27 日の夜間飛行制限の変更に伴い 2020（令和 2）年度から通年で 23 時台の A 滑走路の運用が可能となったことや夜間に離陸することが多い国際線貨物便の増加の影響によるものと考えられる。

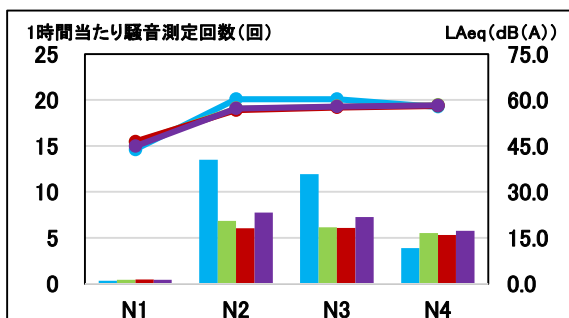
（エリア区分）

A 北直下、A 北側西、B 北側東、北側谷間、空港側方、A 南側西

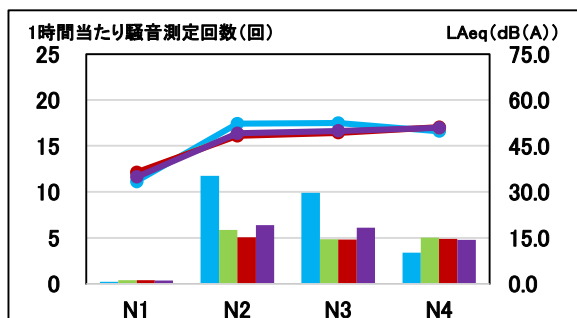
荒海橋本[NN23]（A 北直下）



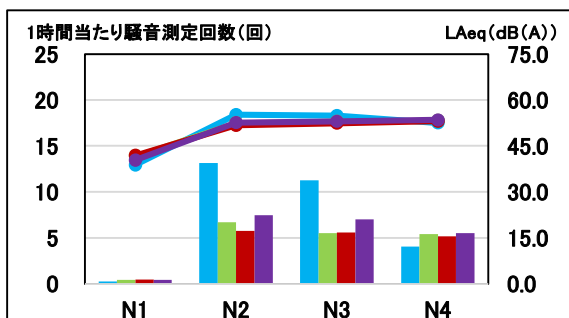
芦田[NN03]（A 北直下）



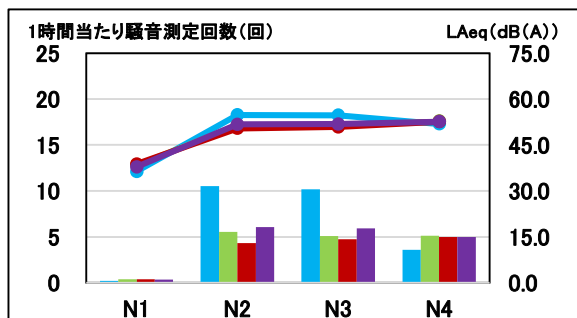
竜台[NN20]（A 北側西）



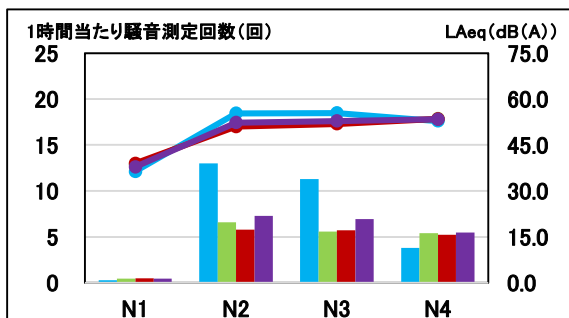
北羽鳥[NN13]（A 北側西）



北羽鳥北部[NN01]（A 北側西）



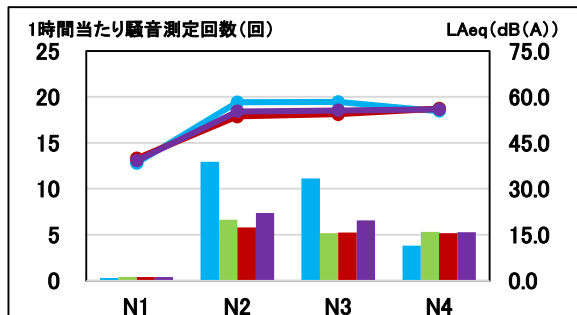
長沼[NN12]（A 北側西）



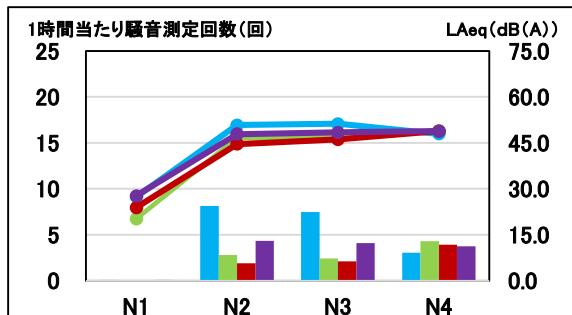
1時間あたり騒音測定回数 (R1) LAeq (R1) 1時間あたり騒音測定回数 (R2) LAeq (R2) 1時間あたり騒音測定回数 (R3) LAeq (R3) 1時間あたり騒音測定回数 (R4) LAeq (R4)

図 3-3-1 騒音測定回数と LAeq の関係 (1/3)

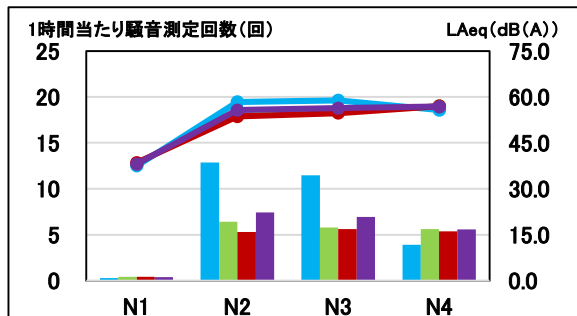
赤荻[NN04] (A北側西)



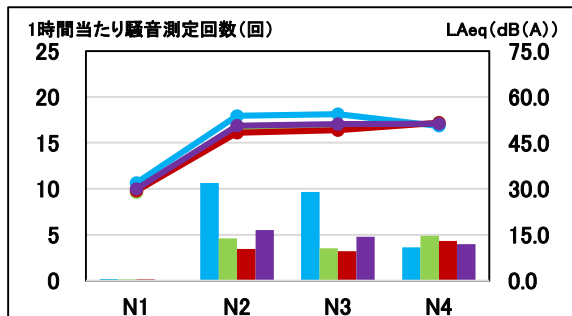
下金山[NN14] (A北側西)



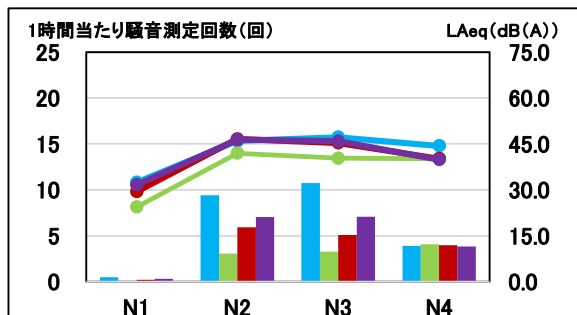
野毛平[NN05] (A北側西)



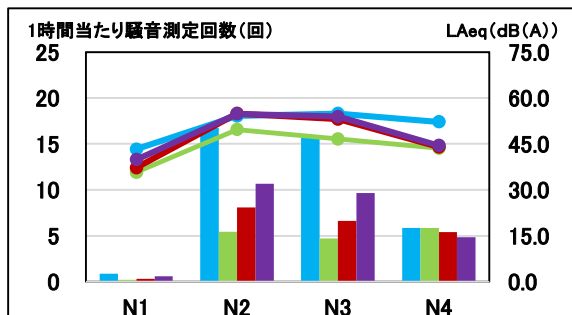
馬場[NN18] (A北側西)



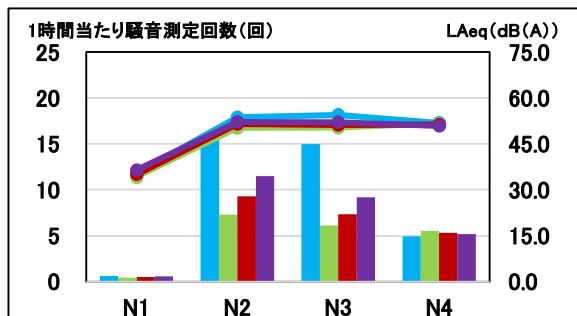
猿山[NM01] (B北側東)



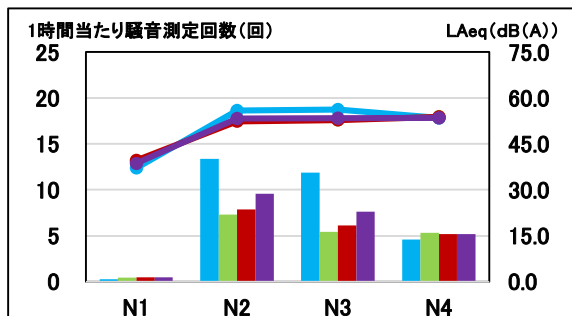
大室[NN22] (B北側東)



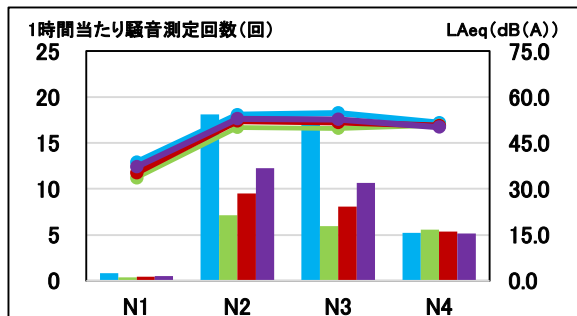
水掛[NN19] (北側谷間)



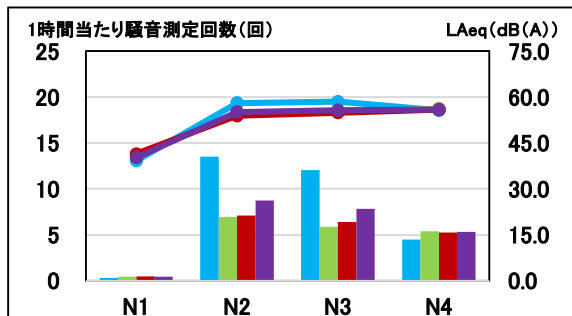
磯部[NN02] (北側谷間)



幡谷[NN09] (北側谷間)



大生[NN21] (北側谷間)

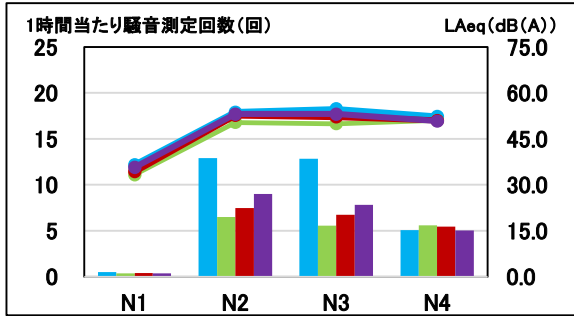


■ 1時間当たり騒音測定回数 (R1)
 ■ 1時間当たり騒音測定回数 (R2)
 ■ 1時間当たり騒音測定回数 (R3)
 ■ 1時間当たり騒音測定回数 (R4)

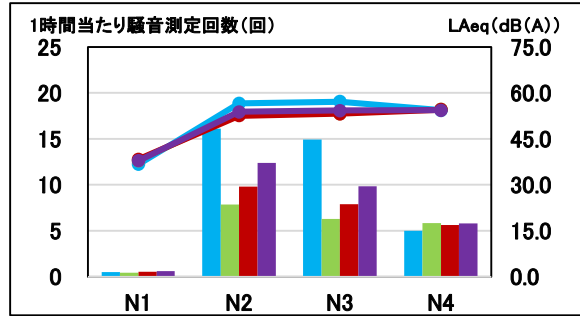
● LAeq (R1)
 ● LAeq (R2)
 ● LAeq (R3)
 ● LAeq (R4)

図 3-3-1 騒音測定回数と LAeq の関係 (2/3)

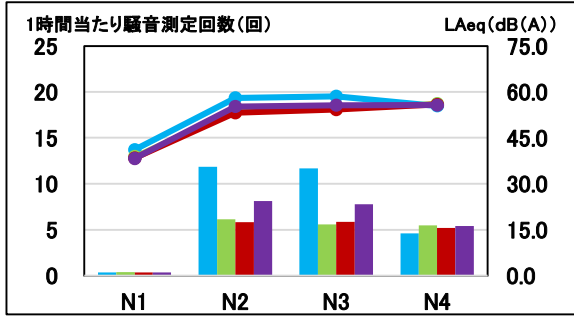
成毛[NN10] (北側谷間)



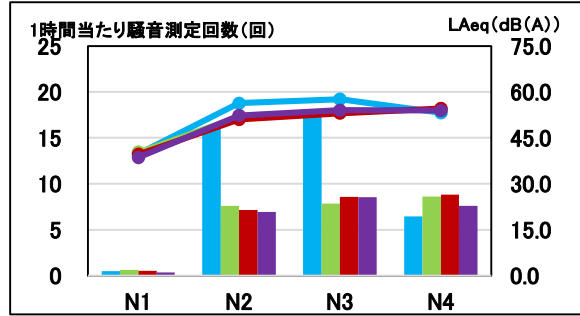
東和泉[NN24] (北側谷間)



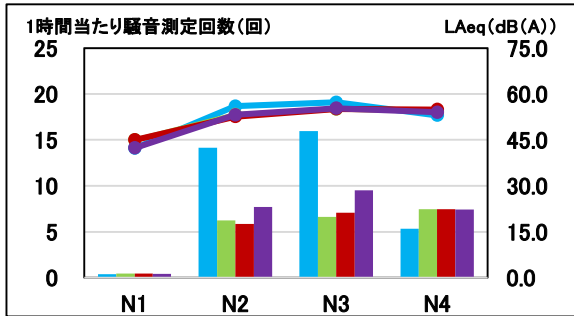
野毛平工業団地[NN11] (北側谷間)



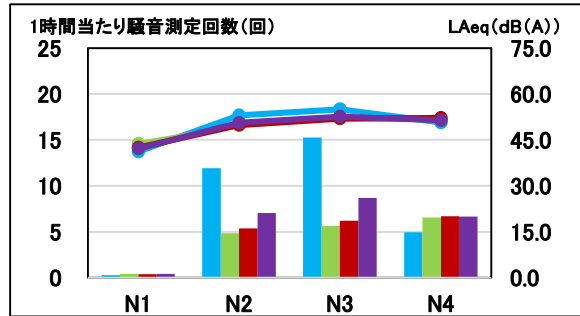
遠山[NN18] (空港側方)



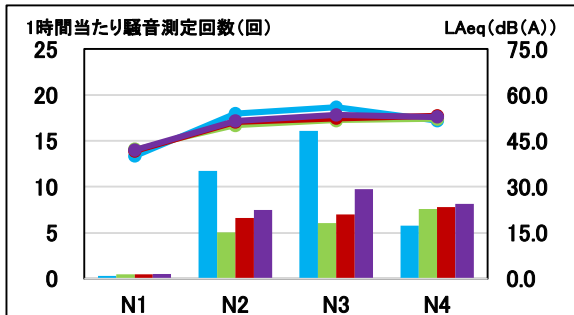
本三里塚[NN07] (空港側方)



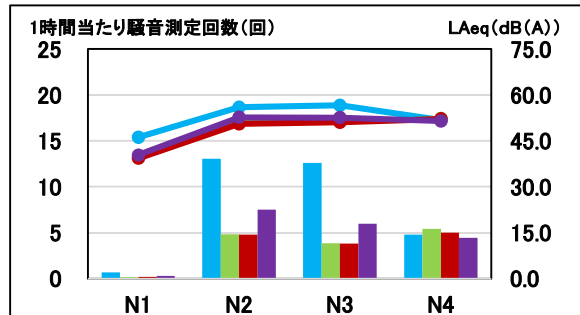
御料牧場記念館[NN16] (空港側方)



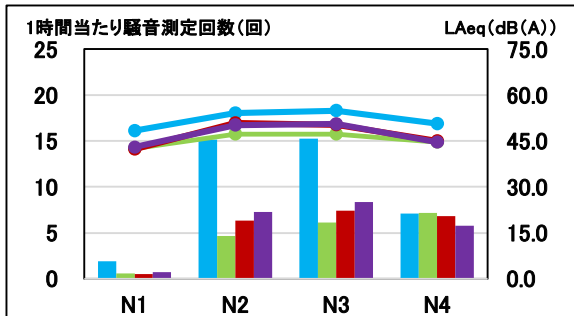
本城[NN17] (空港側方)



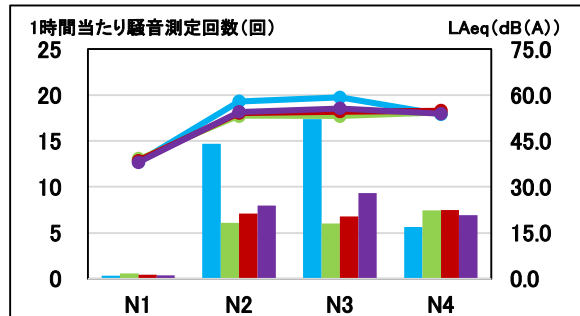
堀之内[NN06] (空港側方)



新田[NT11] (空港側方)



南三里塚[NN08] (A南側西)



■ 1時間当たり騒音測定回数 (R1)
 ■ 1時間当たり騒音測定回数 (R2)
 ■ 1時間当たり騒音測定回数 (R3)
 ■ 1時間当たり騒音測定回数 (R4)

● LAeq (R1)
 ● LAeq (R2)
 ● LAeq (R3)
 ● LAeq (R4)

図 3-3-1 騒音測定回数と LAeq の関係 (3/3)

成田空港では、騒音軽減運航方式や騒音拡散を防止する目的で飛行コースの監視区域が定められているが、運航規制だけでは航空機騒音を低減させることは難しい。

2005（平成17）年10月からNAAは、騒音レベルによる国際線着陸料金制度を導入し、低騒音型の航空機ほど着陸料金が優遇される制度を採っている。また、2019（令和元）年10月にA滑走路の夜間飛行制限が変更され、23時以降に運航する航空機については低騒音機に限定している。これによって、より騒音レベルの低い低騒音型航空機の運航比率は増していると思われるが、更に増加することで、騒音の影響範囲は狭まることが期待できる。

2013（平成25）年度から航空機騒音の評価指標は L_{den} となった。W値ではA・B両滑走路の騒音を受ける地域でいわゆる逆転現象が生じることがあったが、 L_{den} へと変更されたことにより評価値に逆転が生じることがなくなった。一方で、 L_{den} はW値と同様に、夜間の騒音に補正を加えて1日の騒音曝露を表す指標であるため、睡眠妨害の評価には必ずしも適当でないとされている。夜間に発生する単発の航空機騒音については、住民が受ける感覚との乖離があるために苦情が生じている。

このことから、本市では夜間に発生する単発の航空機騒音については、夜間単独での指標・基準値を設けるよう、2015（平成27）年度から環境省に毎年要望しているところであり、早期に実現することを期待する。

実際の騒音発生状況を確認するため、2022（令和4）年度時間別最大騒音レベル分布図を図3-3-3～9に示す。なお、本市が設置する測定局のうち、各エリアを代表して、A滑走路北側飛行経路下の荒海橋本局（第1種区域）、A滑走路北側飛行経路西側の北羽鳥北部局（無指定）、A滑走路西側側方の遠山局（第1種区域）及び本城局（無指定）、空港北側でA滑走路とB滑走路に挟まれた谷間地域に位置する測定局のうちA滑走路側に位置する磯部局（第1種区域）とB滑走路側に位置する幡谷局（第1種区域）、B滑走路北側飛行経路東側の猿山局（無指定）の7局を抽出した。

また、 L_{den} 年間値と夜間（22:00～5:00）に一般的にうるさいと感じる75dB以上の年間騒音測定回数との比較を表3-3-2に示す。

2022（令和4）年度の75dB以上の年間騒音測定回数では、荒海橋本局1,264回、遠山局464回、磯部局236回、本城局214回、北羽鳥北部局30回、幡谷局7回、猿山局0回の順であり、A滑走路の夜間飛行制限が緩和され、23時以降の運用が認められたことにより、A滑走路側の夜間騒音測定回数が多く、その影響はA滑走路飛行経路に近い局ほど大きい。特に、荒海橋本局及び遠山局では、コロナ禍前の2019（令和元）年度と比較しても75dB以上の年間騒音測定回数は大きく増加し、荒海橋本局は224回、遠山局は117回、本城局は68回増加している。

80dB 以上の年間騒音測定回数では、荒海橋本局 214 回、本城局 15 回、遠山局 11 回、磯部局 2 回、北羽鳥北部局、幡谷局及び猿山局は 0 回であり、飛行経路下の荒海橋本局が多い。

しかしながら、これらの測定局の L_{den} では、2019（令和元）年度と比較し、荒海橋本局 0.8dB、遠山局 2.0dB、本城局 0.7dB 減少している。これは、新型コロナウイルス感染症の流行の影響により、昼間の発着回数が大きく減少していることによるもので、このことから L_{den} では夜間騒音について、必ずしも適切に評価することができるとは言えず、本市では先述の夜間単独での評価指標や基準値が必要であると考えている。

また、これらの夜間騒音の発生原因の分析のため、夜間の 75dB 以上の騒音を機種別及び運航目的別に整理したものを表 3-3-3～4 に示す。機種別では B748 や B767、B777 等の中大型機が夜間騒音の主な原因となっているほか、低騒音機に限定される 22 時台は B744 も主な原因となっている。運航目的別では貨物便が主な原因となっている。

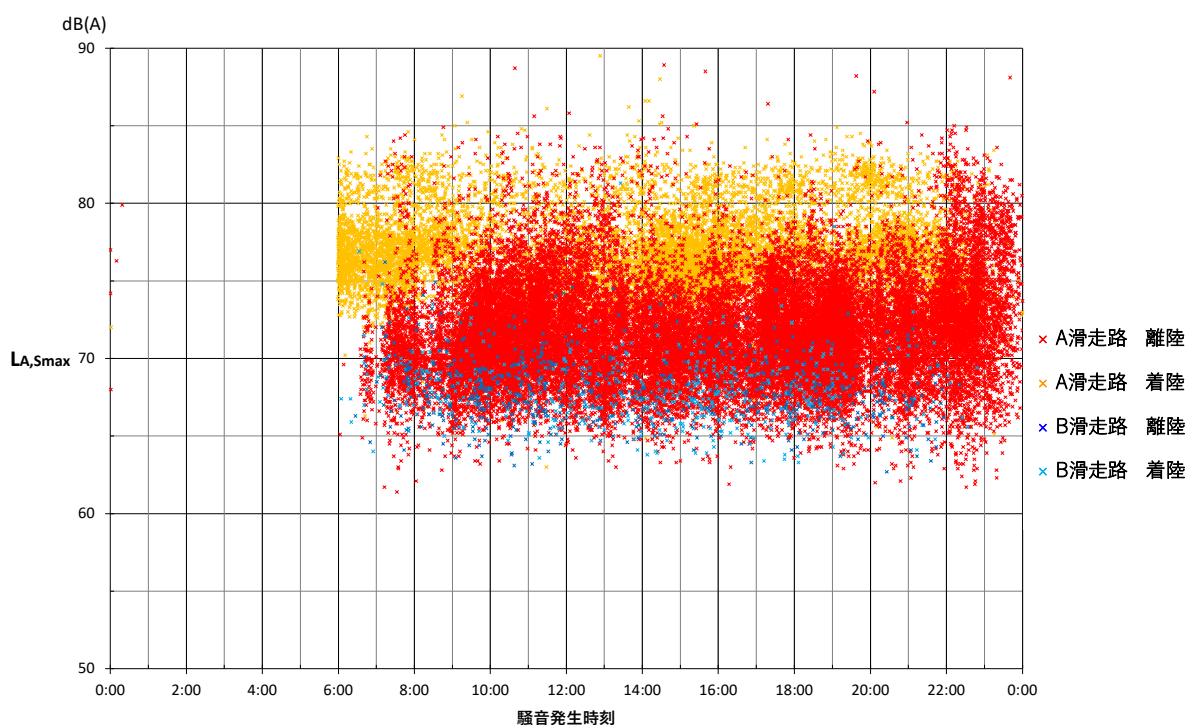


図 3-3-3 2022（令和 4）年度時間別最大騒音レベル分布図（荒海橋本局）

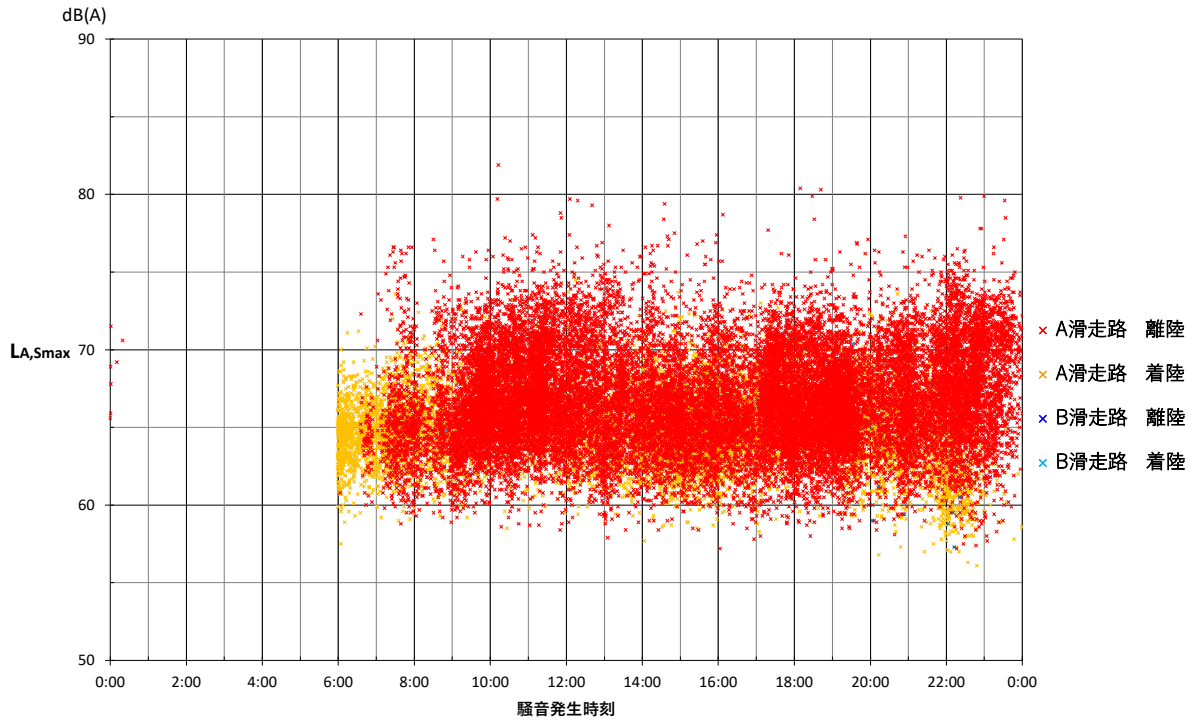


図 3-3-4 2022（令和 4）年度時間別最大騒音レベル分布図（北羽鳥北部局）

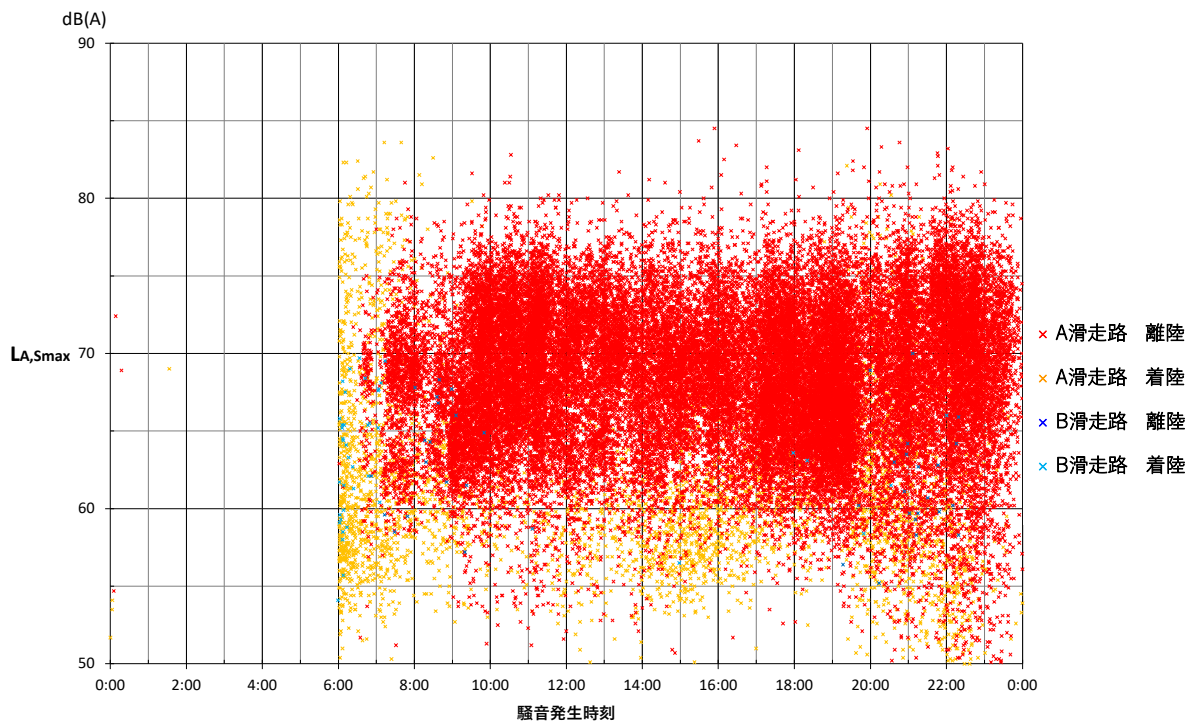


図 3-3-5 2022（令和 4）年度時間別最大騒音レベル分布図（遠山局）

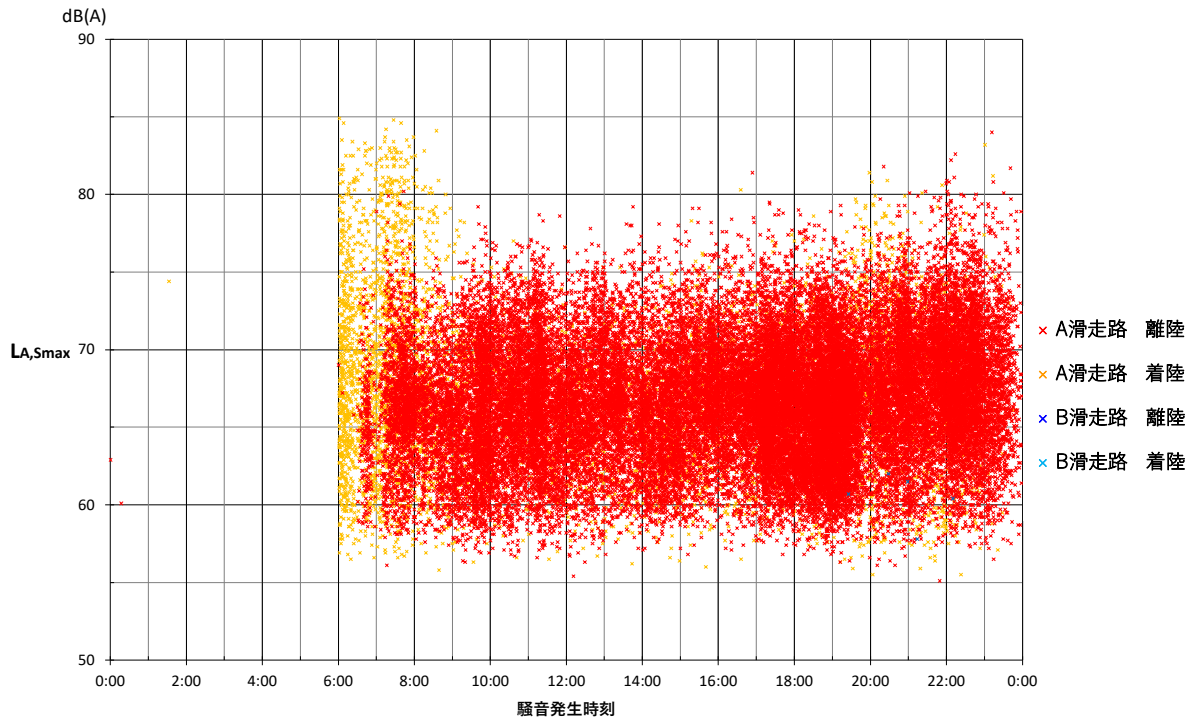


図 3-3-6 2022（令和 4）年度時間別最大騒音レベル分布図（本城局）

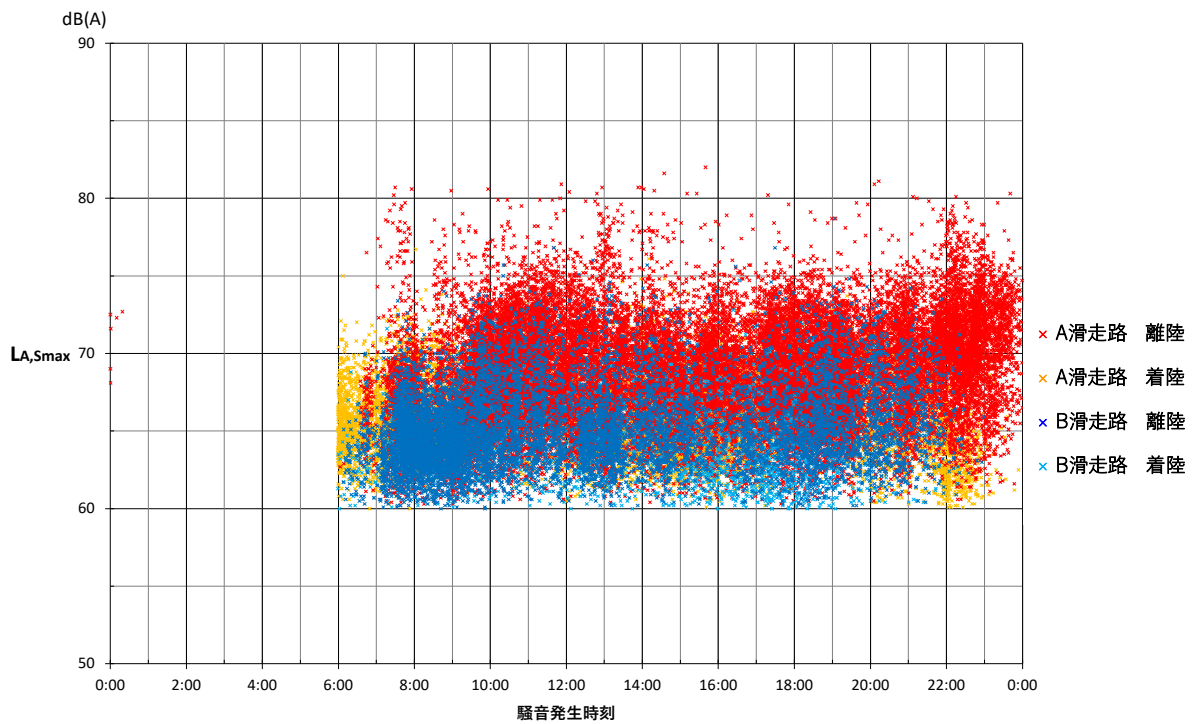


図 3-3-7 2022（令和 4）年度時間別最大騒音レベル分布図（磯部局）

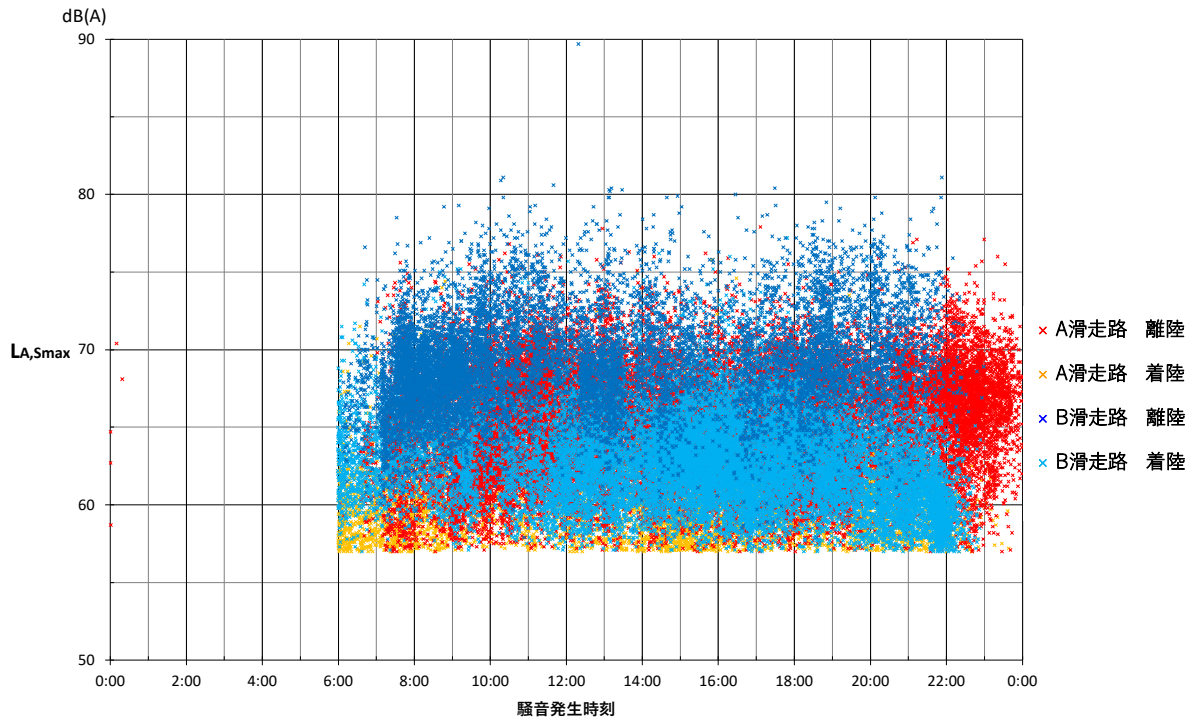


図 3-3-8 2022（令和 4）年度時間別最大騒音レベル分布図（幡谷局）

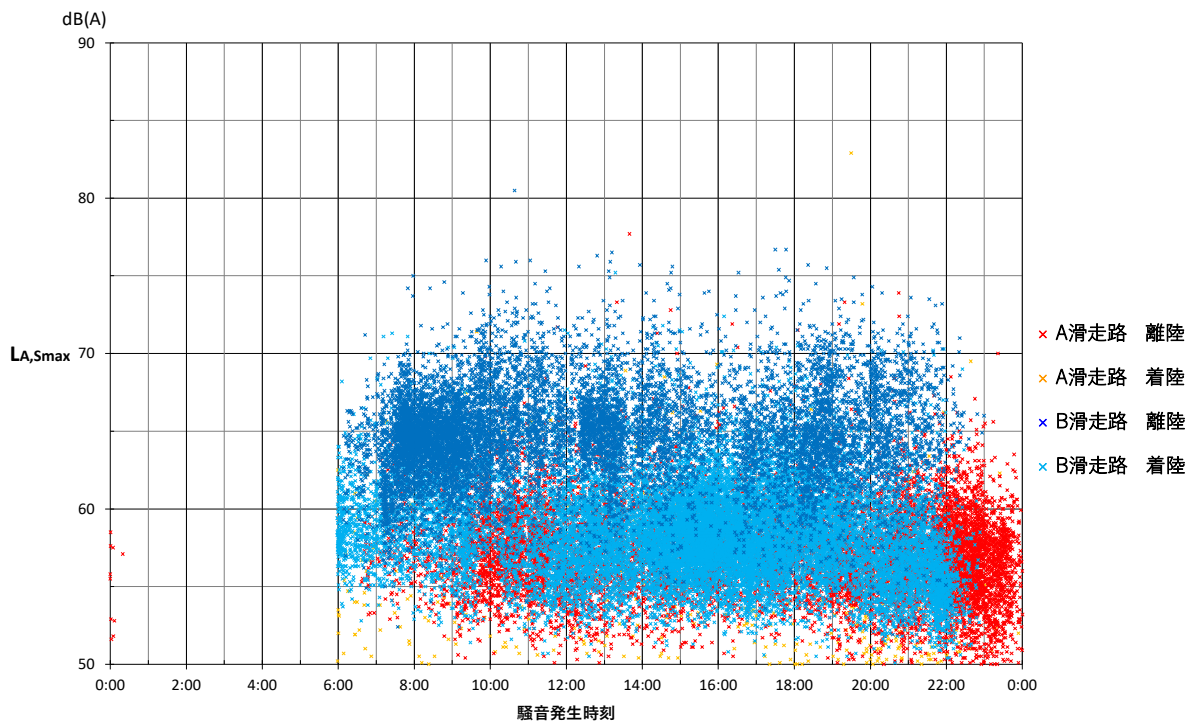


図 3-3-9 2022（令和 4）年度時間別最大騒音レベル分布図（猿山局）

表 3-3-2 L_{den} 年間値と夜間 (22:00~5:00) における 75dB 以上の単発騒音の発生状況との比較

測定局名	エリア	2019 (令和元) 年度				2020 (令和2) 年度				2021 (令和3) 年度				2022 (令和4) 年度							
		Lden 年間値		夜間騒音の発生回数		Lden 年間値		夜間騒音の発生回数		Lden 年間値		夜間騒音の発生回数		Lden 年間値		夜間騒音の発生回数					
		75~79dB	80dB以上	合計	日平均	75~79dB	80dB以上	合計	日平均	75~79dB	80dB以上	合計	日平均	75~79dB	80dB以上	合計	日平均				
NN03 芦田 (成田市)	A.北側コース直下	61.8	1,189	626	1,815	4.96	60.9	1,701	618	2,319	6.35	1,722	536	2,258	6.19	1,517	662	2,179	5.97		
NN23 荒海橋本	A.北側コース直下	61.6	836	204	1,040	2.84	60.9	944	182	1,126	3.08	978	210	1,188	3.25	1,050	214	1,264	3.46		
NN01 北羽鳥北部	A.北側コース西	56.1	39	1	40	0.11	54.9	34	0	34	0.09	30	2	32	0.09	54.8	30	0	30	0.08	
NN04 赤坂	A.北側コース西	59.6	763	58	821	2.24	58.2	785	35	820	2.25	828	32	860	2.36	58.3	849	44	893	2.45	
NN05 野毛平	A.北側コース西	59.9	1,005	110	1,115	3.05	58.7	1,378	94	1,472	4.03	1,480	88	1,568	4.30	58.9	1,489	111	1,600	4.38	
NN12 長沼	A.北側コース西	56.8	175	6	181	0.49	55.5	135	3	138	0.38	113	2	115	0.32	55.6	145	2	147	0.40	
NN13 北羽鳥	A.北側コース西	56.6	266	9	275	0.75	56.0	303	2	305	0.84	234	1	235	0.64	55.9	340	3	343	0.94	
NN14 下金山	A.北側コース西	52.2	8	0	8	0.02	50.4	2	0	2	0.01	49.8	3	0	3	0.01	50.9	2	0	2	0.01
NN18 馬場	A.北側コース西	55.2	74	1	75	0.20	53.2	50	0	50	0.14	52.7	42	0	42	0.12	53.5	83	0	83	0.23
NN20 電台	A.北側コース西	53.8	29	0	29	0.08	52.8	16	1	17	0.05	52.7	17	0	17	0.05	52.8	20	0	20	0.05
NN08 南三里塚	A.南側コース西	59.3	592	45	637	1.74	56.2	509	17	526	1.44	57.1	798	41	839	2.30	57.0	605	22	627	1.72
NN01 猿山	B.北側コース東	48.3	1	0	1	0.00	43.4	0	0	0	0.00	46.8	0	0	0	0.00	46.9	0	0	0	0.00
NN22 大室 (成田市)	B.北側コース東	56.5	395	39	434	1.19	49.8	0	0	0	0.00	54.4	4	0	4	0.01	54.8	32	1	33	0.09
NN02 磯部	北側谷間地域	57.5	366	12	378	1.03	55.9	248	5	253	0.69	55.9	286	4	290	0.79	56.0	234	2	236	0.65
NN09 樋谷	北側谷間地域	55.9	67	0	67	0.18	52.9	7	0	7	0.02	54.0	5	0	5	0.01	54.4	7	0	7	0.02
NN10 成毛	北側谷間地域	55.9	149	11	160	0.44	53.1	7	0	7	0.02	54.3	2	0	2	0.01	54.7	13	0	13	0.04
NN11 野毛平工業団地	北側谷間地域	59.7	641	29	670	1.83	57.9	644	12	656	1.80	57.4	598	9	607	1.66	58.1	556	10	566	1.55
NN19 水掛	北側谷間地域	55.6	48	0	48	0.13	53.4	14	1	15	0.04	53.9	11	0	11	0.03	54.2	7	1	8	0.02
NN21 大生	北側谷間地域	59.7	817	65	882	2.41	58.3	851	47	898	2.46	57.9	789	21	810	2.22	58.2	869	54	923	2.53
NN24 東和泉	北側谷間地域	58.3	387	17	404	1.10	56.4	268	5	273	0.75	56.4	268	4	272	0.75	56.7	246	5	251	0.69
NN06 堀之内	空港側方 (谷間側)	58.0	75	0	75	0.20	54.6	38	0	38	0.10	54.4	44	0	44	0.12	55.0	48	0	48	0.13
NN07 本三里塚	空港側方 (A.西側)	58.0	699	56	755	2.06	57.4	987	39	1,026	2.81	57.5	1,187	84	1,271	3.48	57.0	888	66	954	2.61
NN15 遠山	空港側方 (A.西側)	58.1	333	14	347	0.95	56.2	381	14	395	1.08	56.1	510	22	532	1.46	56.1	453	11	464	1.27
NN16 郡科牧場記念館	空港側方 (A.西側)	55.6	112	5	117	0.32	54.8	114	3	117	0.32	54.8	136	6	142	0.39	54.7	136	10	146	0.40
NN17 本城	空港側方 (A.西側)	56.3	140	6	146	0.40	54.7	125	5	130	0.36	55.5	180	4	184	0.50	55.6	199	15	214	0.59
NT11 新田 (成田市)	空港側方 (B.東側)	57.4	259	15	274	0.75	50.9	0	1	1	0.00	52.6	4	1	5	0.01	52.6	13	0	13	0.04

※2020 (令和2) 年4月1日から、樋谷局・成毛局・水掛局は無指定から第1種区域へ変更

無指定(62dB未満)

第1種区域(62dB以上)

表 3-3-3 夜間 (22:00~5:00) における 75dB 以上の単発騒音の発生状況 (機種別)

測定局名	エリア名	B777		B767		B748		B744		A320		その他		合計																
		22時台	23時台	0時台以降	22時台	23時台	0時台以降	22時台	23時台	0時台以降	22時台	23時台	0時台以降	22時台	23時台	0時台以降	B777	B767	B748	B744	A320	その他								
NN03 芦田 (成田市)	A 北側コース直下	644	128	0	275	99	0	276	320	2	169	1	0	0	182	74	2	772	(35)	374	(17)	598	(27)	170	(8)	7	(0)	258	(12)	
NN23 荒海橋本	A 北側コース直下	210	29	0	100	38	2	215	263	2	158	1	1	54	139	39	5	239	(19)	140	(11)	480	(38)	160	(13)	62	(5)	183	(14)	
NN01 北羽鳥北郡	A 北側コース西	0	0	0	0	0	0	0	8	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0)	0	(0)	15	(50)	13	(43)	0	(0)	2	(7)
NN04 赤坂	A 北側コース西	165	37	0	69	35	0	144	201	0	145	1	0	0	75	20	1	202	(23)	104	(12)	345	(39)	146	(16)	0	(0)	96	(11)	
NN05 野毛平	A 北側コース西	491	90	0	217	97	0	189	240	1	156	1	0	0	94	24	0	581	(36)	314	(20)	430	(27)	157	(10)	0	(0)	118	(7)	
NN12 長沼	A 北側コース西	3	3	0	3	0	0	26	22	0	77	1	0	0	9	3	0	6	(4)	3	(2)	48	(33)	78	(53)	0	(0)	12	(8)	
NN13 北羽鳥	A 北側コース西	7	4	0	2	4	0	81	95	0	104	2	0	0	32	12	0	11	(3)	6	(2)	176	(51)	106	(31)	0	(0)	44	(13)	
NN14 下釜山	A 北側コース西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)	2	(100)	0	(0)	0	(0)	
NN18 馬場	A 北側コース西	13	6	0	2	4	0	9	5	0	36	0	0	0	7	1	0	19	(23)	6	(7)	14	(17)	36	(43)	0	(0)	8	(10)	
NN20 竜台	A 北側コース西	0	0	0	0	0	0	4	4	0	11	1	0	0	0	0	0	0	(0)	0	(0)	8	(40)	12	(60)	0	(0)	0	(0)	
NN08 南三里塚	A 南側コース西	172	20	0	212	106	0	6	4	0	64	1	0	2	0	0	1	192	(31)	318	(51)	10	(2)	65	(10)	2	(0)	40	(6)	
NN01 猿山	B 北側コース東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	
NN22 大室 (成田市)	B 北側コース東	2	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	2	(6)	13	(39)	0	(0)	0	(0)	18	(55)	0	(0)		
NN02 磯部	北側谷間地域	6	4	0	9	4	0	23	27	0	121	1	0	0	31	10	0	10	(4)	13	(6)	50	(21)	122	(52)	0	(0)	41	(17)	
NN09 幡谷	北側谷間地域	0	0	0	1	0	0	2	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	(0)	1	(14)	2	(29)	2	(29)	0	(0)	2	(29)	
NN10 成毛	北側谷間地域	0	0	0	6	0	0	0	0	0	5	0	0	0	2	0	0	0	(0)	6	(46)	0	(0)	5	(38)	0	(0)	2	(15)	
NN11 野毛平工業団地	北側谷間地域	91	29	0	52	34	0	69	84	0	152	1	0	1	44	8	1	120	(21)	86	(15)	153	(27)	153	(27)	1	(0)	53	(9)	
NN19 水掛	北側谷間地域	0	0	0	0	0	0	0	1	0	5	0	0	0	2	0	0	0	(0)	0	(0)	1	(13)	5	(63)	0	(0)	2	(25)	
NN21 大生	北側谷間地域	182	39	0	72	40	0	136	192	0	144	1	0	1	90	25	1	221	(24)	112	(12)	328	(36)	145	(16)	1	(0)	116	(13)	
NN24 東和泉	北側谷間地域	21	2	0	5	8	0	27	26	0	120	1	0	1	31	9	0	23	(9)	13	(5)	53	(21)	121	(48)	1	(0)	40	(16)	
NN06 堀之内	空港側方 (谷間側)	16	1	0	6	4	0	1	0	0	17	0	0	1	1	0	1	17	(35)	10	(21)	1	(2)	17	(35)	1	(2)	2	(4)	
NN07 本三里塚	空港側方 (A 西側)	232	31	0	323	133	0	40	41	0	84	0	0	16	2	0	42	10	263	(28)	456	(48)	81	(8)	84	(9)	18	(2)	52	(5)
NN15 遠山	空港側方 (A 西側)	109	19	0	163	54	0	18	21	0	46	0	0	1	26	7	0	128	(28)	217	(47)	39	(8)	46	(10)	1	(0)	33	(7)	
NN16 御料牧場記念館	空港側方 (A 西側)	33	10	0	32	15	0	12	11	0	20	0	0	3	7	2	1	43	(29)	47	(32)	23	(16)	20	(14)	3	(2)	10	(7)	
NN17 本城	空港側方 (A 西側)	54	13	0	64	27	0	8	12	0	19	0	0	0	13	4	0	67	(31)	91	(43)	20	(9)	19	(9)	0	(0)	17	(8)	
NT11 新田 (成田市)	空港側方 (B 東側)	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	(0)	7	(54)	0	(0)	0	(0)	6	(46)	0	(0)	

※2020 (令和2) 年4月1日から、幡谷局・成毛局・水掛局は無指定から第1種区域へ変更

※括弧は割合(%)を示す。割合は小数点以下を四捨五入して100にならない場合がある。

無指定(62dB未満)

第1種区域(62dB以上)

表 3-3-4 夜間 (22:00~5:00) における 75dB 以上の単発騒音の発生状況 (運航目的別)

測定局名	エリア名	旅客				貨物				その他				合計				
		23時台		0時台以降		22時台		0時台以降		22時台		0時台以降		23時台		旅客	貨物	その他
		22時台	23時台	0時台以降	22時台	23時台	0時台以降	22時台	23時台	0時台以降	22時台	23時台	0時台以降	22時台	23時台			
NN03 芦田 (成田市)	A:北側コース直下	430	80	2	1,076	497	2	46	46	0	512	(23)	1,575	(72)	92	(4)		
NN23 荒海橋本	A:北側コース直下	341	49	5	485	293	5	50	36	0	395	(31)	783	(62)	86	(7)		
NN01 北羽島北部	A:北側コース西	1	0	0	22	7	0	0	0	0	1	(3)	29	(97)	0	(0)		
NN04 赤萩	A:北側コース西	189	24	1	385	236	0	24	34	0	214	(24)	621	(70)	58	(6)		
NN05 野毛平	A:北側コース西	306	28	0	806	381	1	35	43	0	334	(21)	1,188	(74)	78	(6)		
NN12 長沼	A:北側コース西	8	3	0	110	25	0	0	1	0	11	(7)	135	(92)	1	(1)		
NN13 北羽島	A:北側コース西	35	12	0	189	101	0	2	4	0	47	(14)	290	(85)	6	(2)		
NN14 下金山	A:北側コース西	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	(0)	2	(100)	0	(0)		
NN18 竜場	A:北側コース西	12	2	0	55	10	0	0	4	0	14	(17)	65	(78)	4	(5)		
NN20 竜台	A:北側コース西	0	0	0	15	5	0	0	0	0	0	(0)	20	(100)	0	(0)		
NN08 南三里塚	A:南側コース西	131	6	0	326	92	0	30	41	1	137	(22)	418	(67)	72	(11)		
NN01 猿山	B:北側コース東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)		
NN22 大塚 (成田市)	B:北側コース東	28	0	0	5	0	0	0	0	0	28	(85)	5	(15)	0	(0)		
NN02 磯部	北側谷間地域	32	10	0	155	33	0	3	3	0	42	(18)	188	(80)	6	(3)		
NN09 幡谷	北側谷間地域	3	0	0	2	2	0	0	0	0	3	(43)	4	(57)	0	(0)		
NN10 成毛	北側谷間地域	5	0	0	8	0	0	0	0	0	5	(38)	8	(62)	0	(0)		
NN11 野毛平工業団地	北側谷間地域	97	9	1	292	121	0	20	26	0	107	(19)	413	(73)	46	(8)		
NN19 水掛	北側谷間地域	1	0	0	6	1	0	0	0	0	1	(13)	7	(88)	0	(0)		
NN21 大生	北側谷間地域	216	27	1	381	235	0	28	35	0	244	(26)	616	(67)	63	(7)		
NN24 東和泉	北側谷間地域	45	9	0	158	30	0	2	7	0	54	(22)	188	(75)	9	(4)		
NN06 堀之内	空港側方 (谷間側)	18	2	0	22	1	0	2	3	0	20	(42)	23	(48)	5	(10)		
NN07 本三里塚	空港側方 (A:西側)	194	22	0	509	166	0	34	29	0	216	(23)	675	(71)	63	(7)		
NN15 遠山	空港側方 (A:西側)	90	7	0	261	79	0	12	15	0	97	(21)	340	(73)	27	(6)		
NN16 御料牧場記念館	空港側方 (A:西側)	33	3	0	64	26	0	10	9	1	36	(25)	90	(62)	20	(14)		
NN17 本城	空港側方 (A:西側)	52	5	0	96	36	0	10	15	0	57	(27)	132	(62)	25	(12)		
NT11 新田 (成田市)	空港側方 (B:東側)	13	0	0	0	0	0	0	0	0	13	(100)	0	(0)	0	(0)		

※2020 (令和2) 年4月1日から、幡谷局・成毛局・水掛局は無指定から第1種区域へ変更
 ※括弧は割合(%)を示す。割合は小数点以下を四捨五入しているため合計しても100にならない場合がある。

無指定(62dB未満)

第1種区域(62dB以上)

成田空港では、2018（平成30）年3月13日の四者協議会における合意に基づき、成田空港の更なる機能強化に係る取り組みが進められている。2019（令和元）年10月には、空港開港以来、初めて夜間飛行制限が変更され、A滑走路の運用時間が1時間延長され0時までとなり、2020（令和2）年1月31日には、国土交通省により、成田空港の更なる機能強化に係る空港の施設変更が許可された。今後、2028（令和10）年度末の供用開始を目指し、C滑走路の新設、B滑走路の北側延伸整備が進められることとされ、新滑走路の供用開始後には、滑走路別に異なる運用時間を採用しつつ、飛行航路下における7時間の静穏時間を確保するスライド運用の実施が予定されている。

このような更なる機能強化の取り組みが進められる一方で、新型コロナウイルス感染症の影響による世界的な航空需要減少を受けて、航空機の発着回数は減少し、航空需要が回復するまでの間、今後の空港運用にも大きな影響を与えるものと考えられる。

成田空港周辺地域における騒音発生状況についても、空港の施設や運用状況の変化に応じて今後も変化していくものと考えられることから、新たに生じる課題や、必要とされる騒音対策については、関係機関と柔軟に対応策を協議し、相互に協力して取り組んでまいりたい。